

# 2017年6月期 決算説明会資料

株式会社エンビプロ・ホールディングス  
2017年8月18日



1. 2017年6月期 決算概要
2. 2018年6月期 見通し
3. 会社概要
4. 参考データ

---

# 1. 2017年6月期 決算概要

# 2017年6月期 ハイライト



## 業績

売上高	29,122百万円	(前年同期比 0.0%減)
営業利益	796百万円	(前年同期比 9.0%増)
経常利益	1,000百万円	(前年同期比17.3%増)
当期純利益	768百万円	(前年同期比22.2%増)
ROE	9.2%	(前年実績 +1.2%)

## 主要TOPICS

- 鉄スクラップは期中平均価格が上昇し非鉄金属は11月以降上昇し堅調に推移
- リサイクル工場での取引は、事業環境の改善と廃棄物の取扱量拡大、貴金属回収量の増加、動産撤去・処理サービスの獲得数の増加により収益増加
- 東洋ゴムチップは販売好調で増収増益（過去最高益）
- 鉄スクラップの貿易取引は、相場変動に対応しきれず収益減少
- 中古車・中古車部品等は仕入原価率が上昇し収益減少
- 太陽光発電所開発は開発案件数が減少し収益減少
- 新規事業（障がい者就労移行支援、木質系バイオマス燃料の輸入、デジタルサイネージ）は、立上げ費用先行

# 2017年6月期 連結損益計算書概要

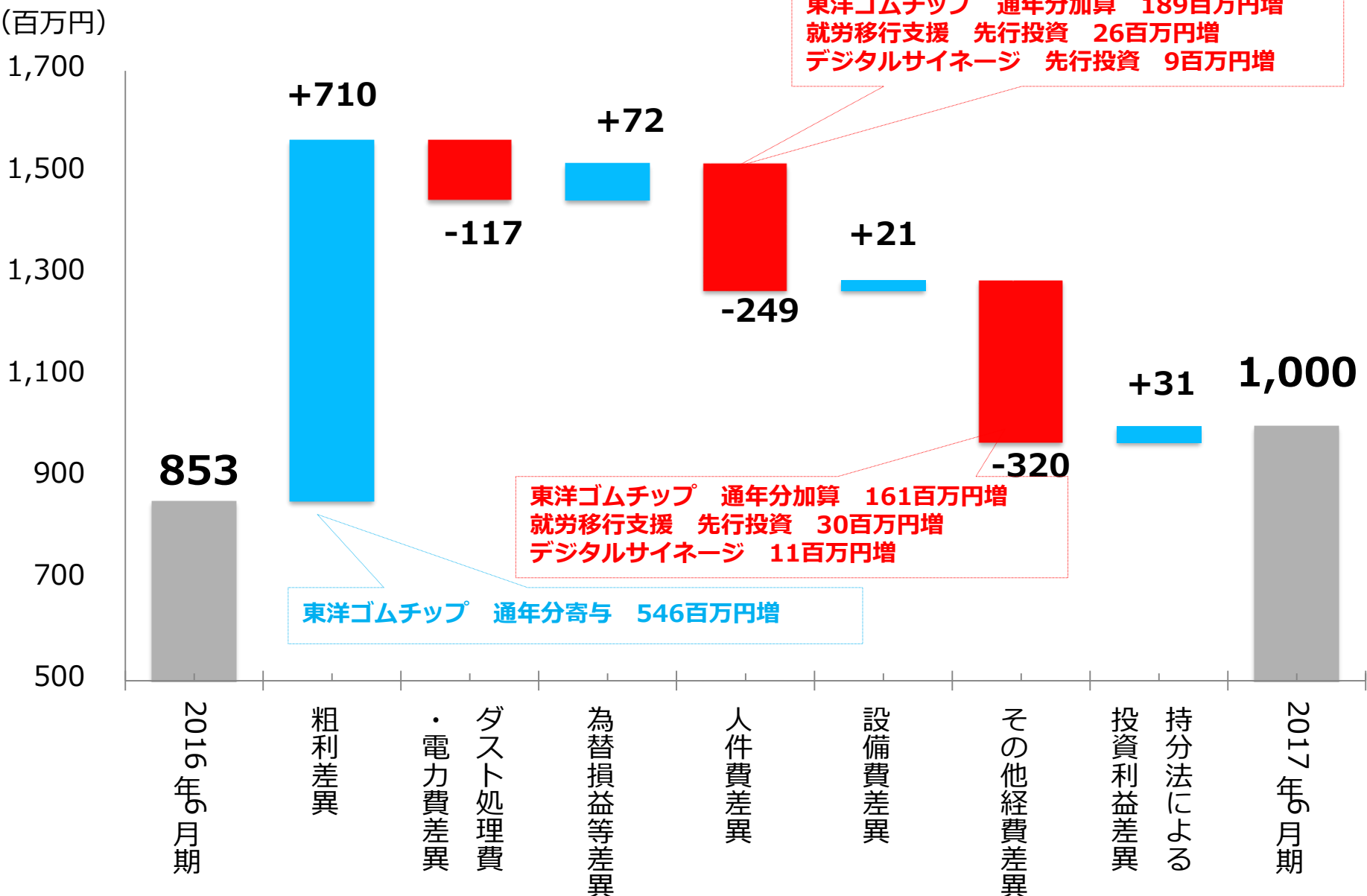
	2016年 6月期	2017年 6月期	前年同期比		2017年 6月期	対実績比	
	実績	実績	増減額	増減率 (%)	前回公表	増減	増減率
売上高	29,130	<b>29,122</b>	▲7	▲0.0%	29,457	▲334	▲1.1%
営業利益	731	<b>796</b>	65	9.0%	738	58	7.9%
経常利益	853	<b>1,000</b>	147	17.3%	882	118	13.4%
税金等調整前 当期純利益	932	<b>1,046</b>	113	12.2%	916	130	14.2%
当期純利益※	629	<b>768</b>	139	22.2%	675	92	13.7%
E B I T D A ※	1,383	<b>1,395</b>	11	0.8%	—	—	—
限界利益	5,226	<b>5,890</b>	664	12.7%	5,790	100	1.7%
純粋固定費※	4,455	<b>5,004</b>	549	12.3%	5,005	▲0	▲0.0%
ROE	8.0%	<b>9.2%</b>	1.2%	15.0%	—	—	—

※当期純利益 = 親会社株主に帰属する当期純利益

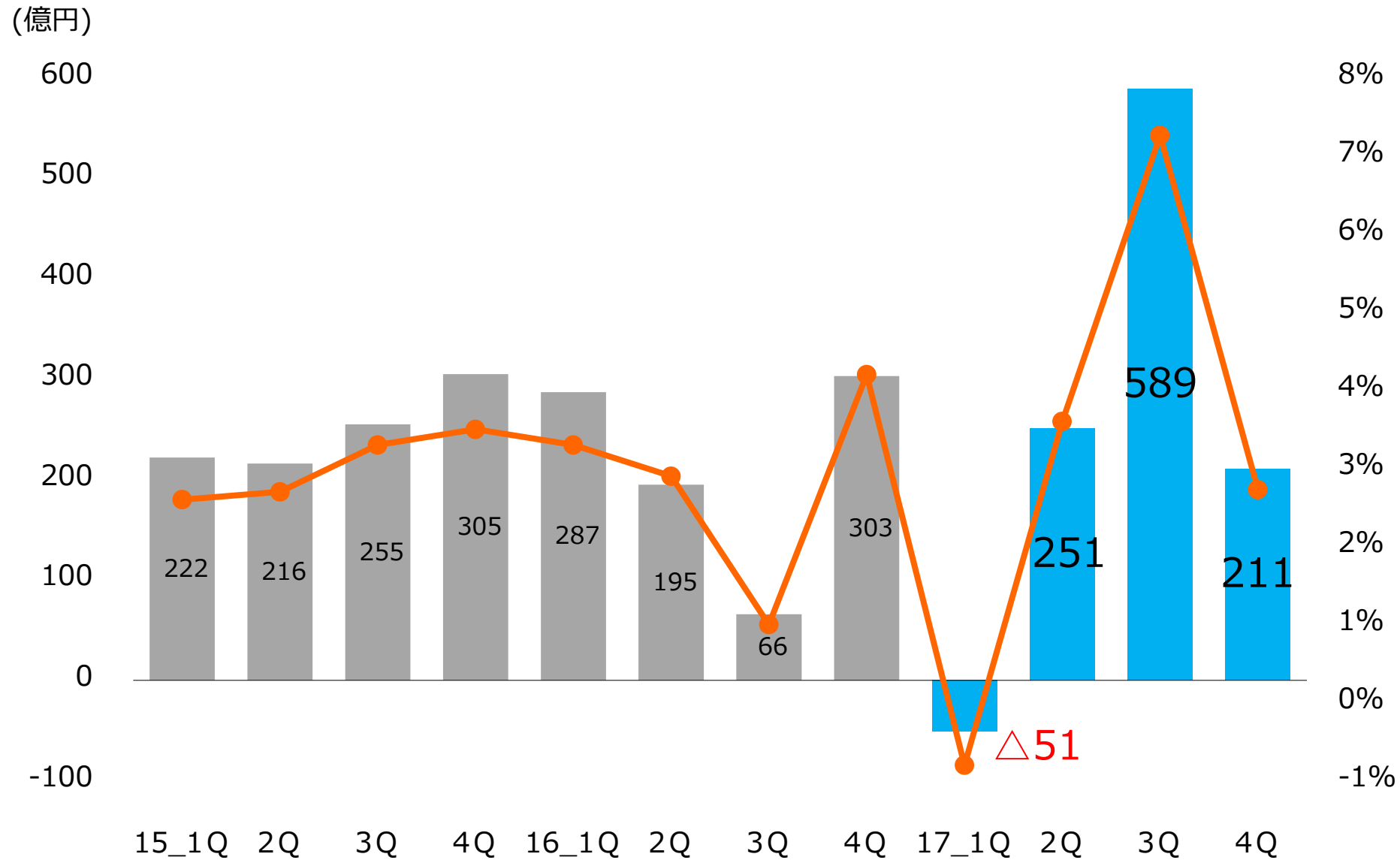
※ E B I T D A = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却

※純粋固定費 = 【売上原価・販管費・営業外費用の固定費相当分】 - 【為替差益・持分利益を除いた営業外収益分】

# 経常利益差異分析

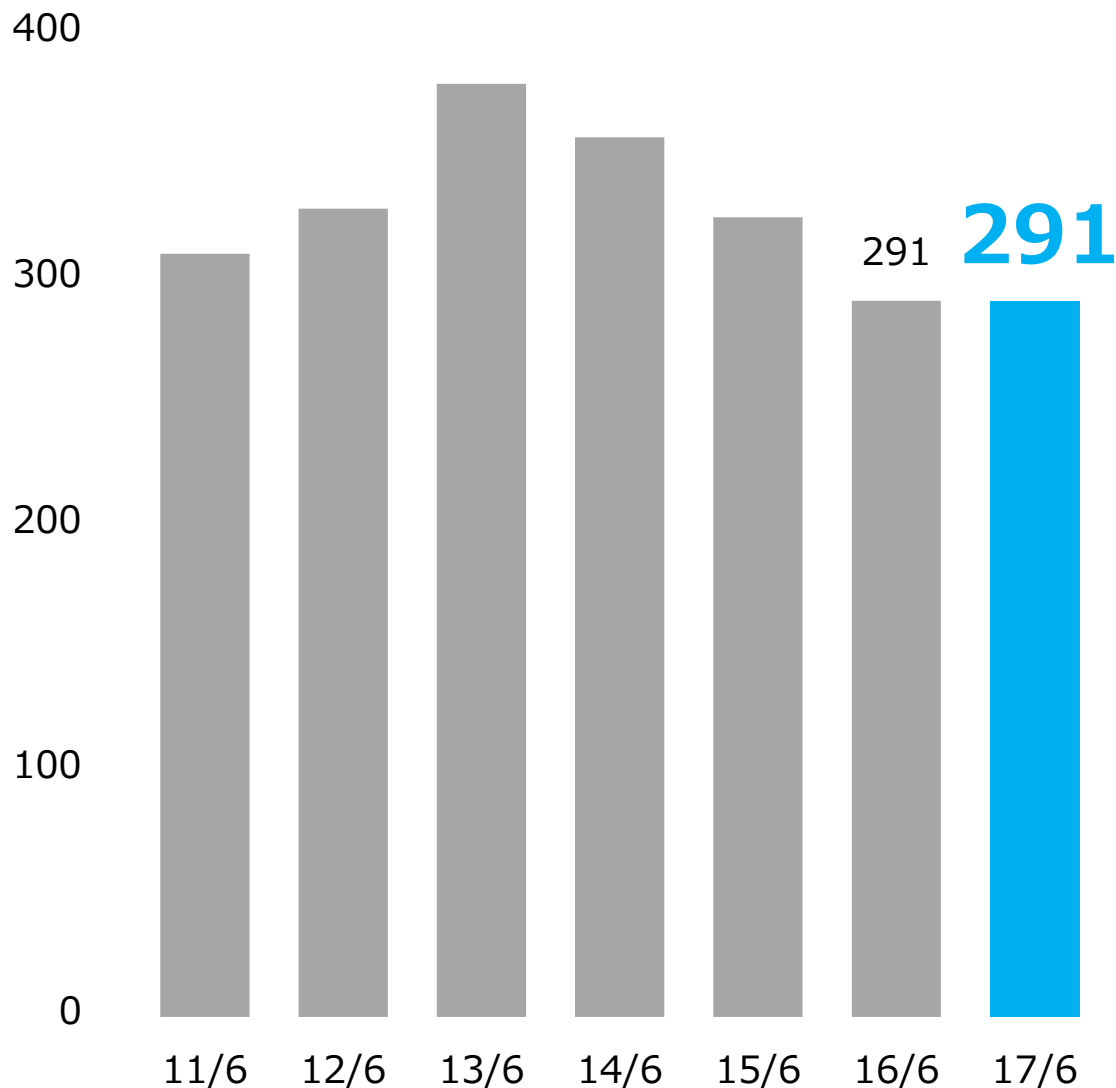


# 四半期經常利益推移



# 連結業績 売上高推移

(億円)



## 4期連続減収も

資源相場回復

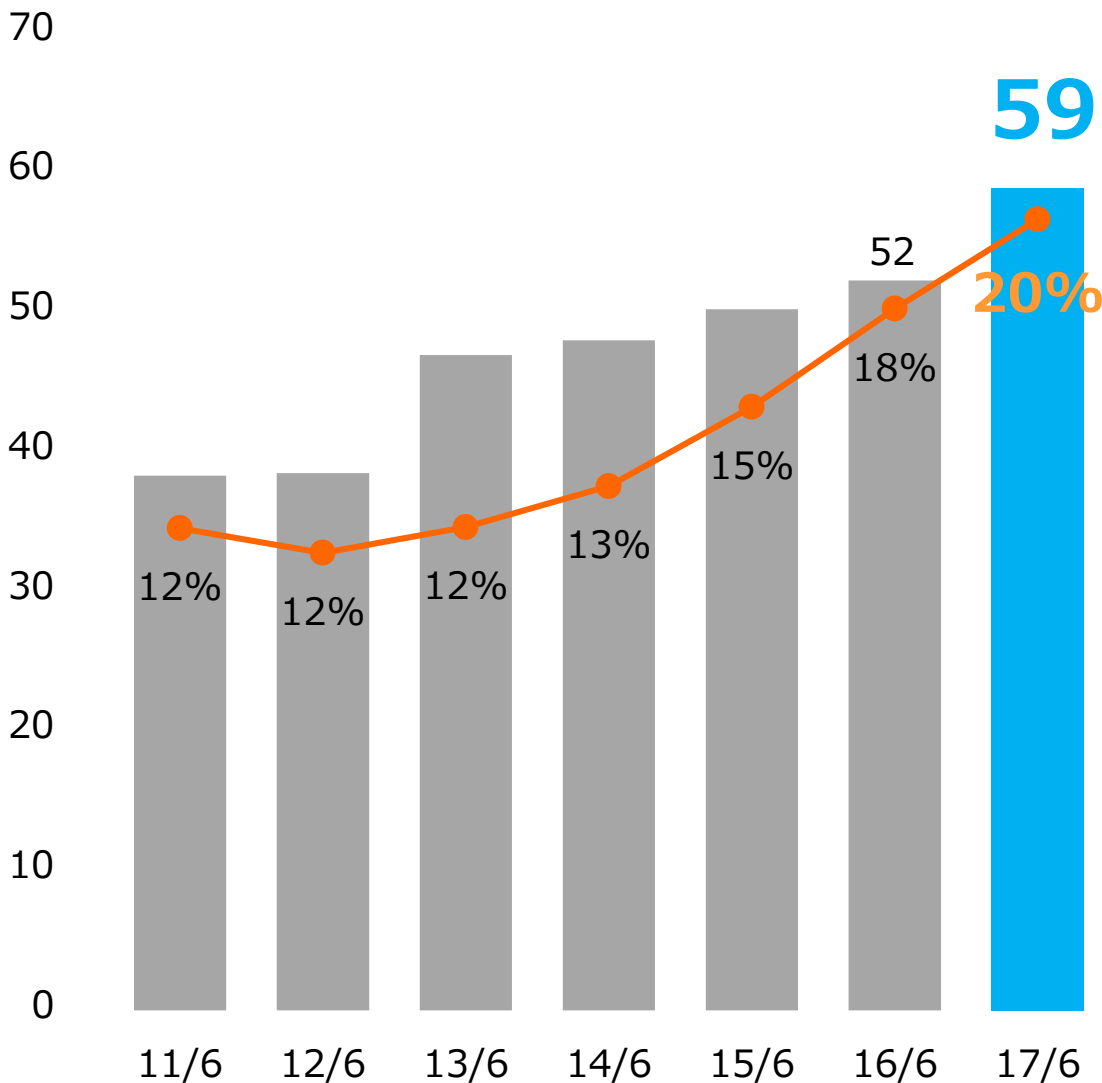
東洋ゴムチップ通年寄与  
等により



## 底打ちへ



(億円)



## 限界利益

6期連続増加

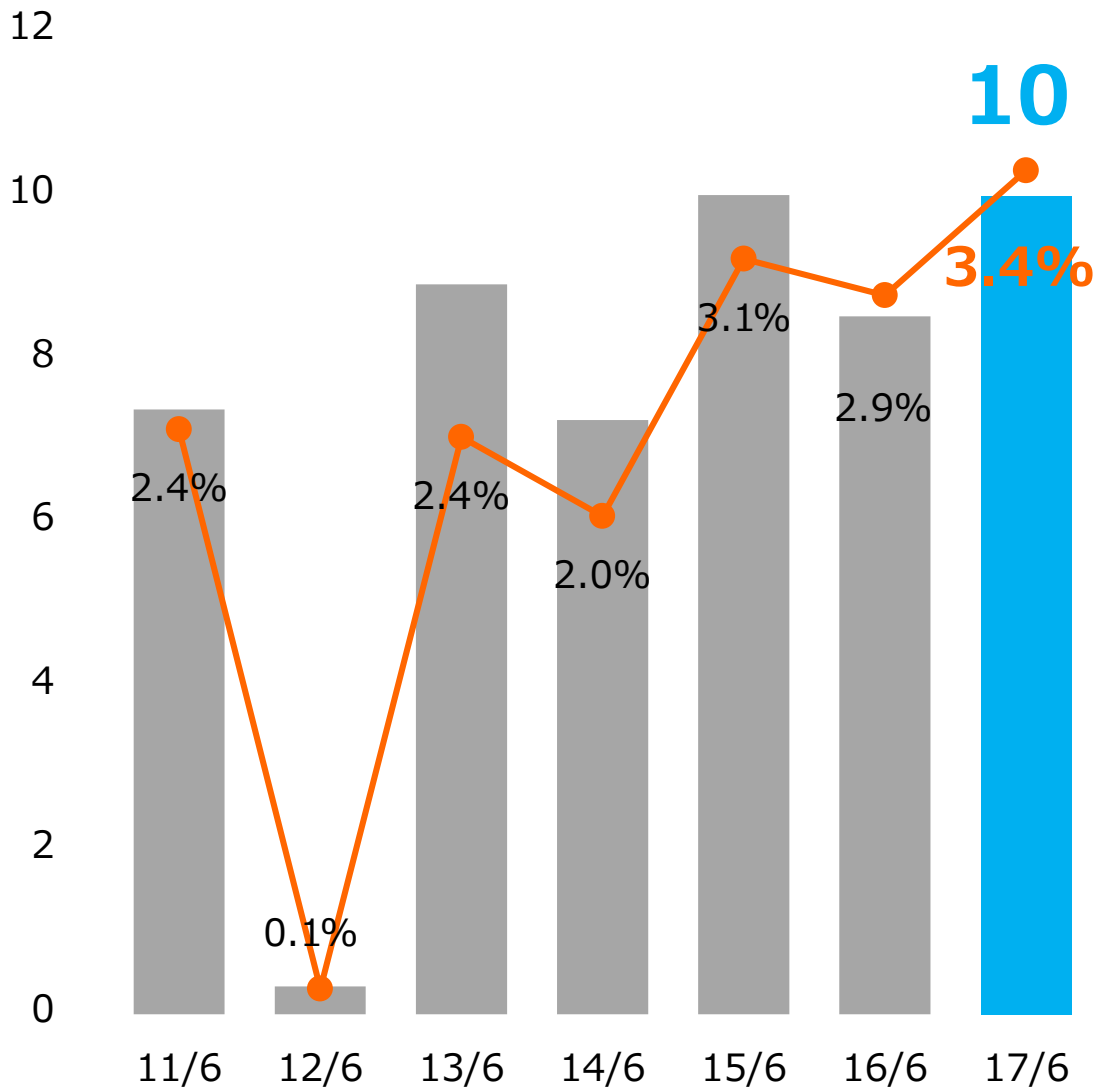
## 限界利益率

5期連続上昇

粗利獲得  
能力向上

# 連結業績 經常利益・率推移

(億円)



前期比

17.3%増



10億円台回復し  
成長局面へ

# 連結貸借対照表概要



(百万円)

	2016年 6月末	2017年 6月末	増減額		2016年 6月末	2017年 6月末	増減額
流動資産	7,339	8,108	769	流動負債	3,715	6,319	2,604
固定資産	7,687	9,777	2,090	固定負債	3,018	2,581	▲436
(有形固定資産)	5,135	5,030	▲104	負債合計	6,733	8,901	2,167
(無形固定資産)	194	141	▲52	純資産	8,293	8,985	691
(投資その他の資産)	2,358	4,605	2,246	(株主資本)	8,030	8,680	650
資産合計	15,027	17,886	2,859	負債純資産合計	15,027	17,886	2,859

## 主要TOPICS

- 太陽光発電所を開発する合同会社に対する匿名組合出資により投資その他の資産が増加
- 匿名組合出資金の借入により流動負債が増加
- 前述の事項により総資産拡大

# 連結キャッシュ・フロー計算書概要



(百万円)

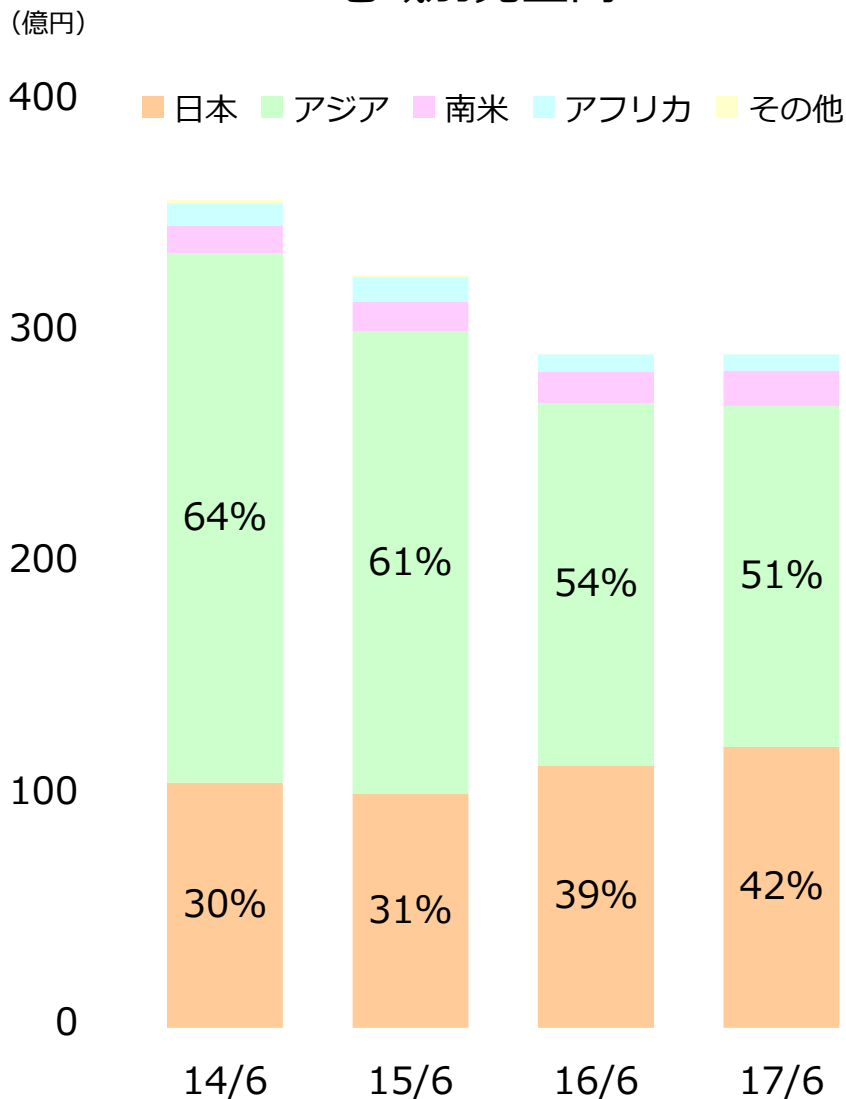
項目	2016年6月期	2017年6月期	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,534	5	▲2,529
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲1,044	▲2,567	▲1,523
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲33	1,757	1,790
現金及び現金同等物に係る換算差額	▲45	18	64
現金及び現金同等物の増減額	1,410	▲786	▲2,197
現金及び現金同等物の期首残高	1,441	2,852	1,410
現金及び現金同等物の期末残高	2,852	2,066	▲786

## 主要TOPICS

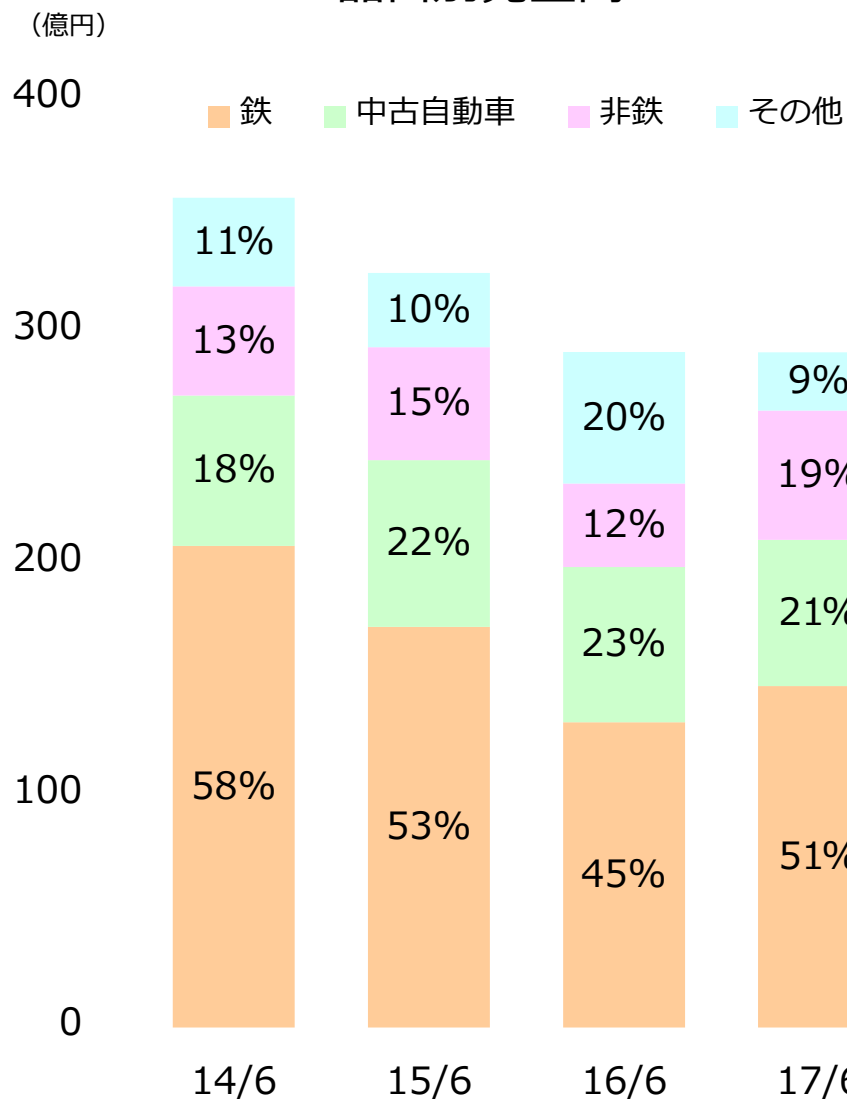
- 営業CF：売上債権の増加、棚卸資産の増加
- 投資CF：太陽光発電所を開発する合同会社に対する匿名組合出資の実行と回収等
- 財務CF：短期借入金の純増減額の収入により増加

# 地域別売上高・品目別売上高

## 地域別売上高



## 品目別売上高



---

## 2. 2018年6月期 見通し

# 2018年6月期業績見通し（連結）



(百万円)

	2016年6月期	2017年6月期	2018年6月期		
	通期	通期	通期	増減額	増減率 (%)
売上高	29,130	29,122	<b>31,573</b>	2,450	8.4%
営業利益	731	796	<b>884</b>	87	11.0%
経常利益	853	1,000	<b>1,078</b>	77	7.8%
税金等調整前 当期純利益	932	1,046	<b>1,078</b>	31	3.1%
当期純利益※	629	768	<b>736</b>	▲32	▲4.2%
E B I T D A	1,383	1,395	<b>1,574</b>	179	12.9%
限界利益	5,226	5,890	<b>6,404</b>	513	8.7%
純粋固定費	4,455	5,004	<b>5,450</b>	446	8.9%
ROE	8.0%	9.2%	<b>8.2%</b>	▲1.0%	▲10.9%

※当期純利益 = 親会社株主に帰属する当期純利益

※ E B I T D A = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却

※純粋固定費 = 【売上原価・販管費・営業外費用の固定費相当分】 - 【為替差益・持分利益を除いた営業外収益分】

# 足元の事業環境と取り組み

## 事業環境

- 引き続き世界経済は緩やかながらも回復すると見込み、資源価格も底堅く推移することを想定
- 中国の環境規制により中国へのプラスチック原料及び雑品輸出が困難になり、プラス、マイナス両面の影響が出てくることを想定

## 取り組み

- 既存事業
  - 相場変動を活用して利益を出す(活相場)
  - 相場に左右されにくい事業分野を強化する(脱相場)
  - 取扱いアイテム、仕入先、販売先を増やして利益の源泉を多様化する
- 新規事業立上げによる新たな収益源を獲得する



既存事業の利益を、新規事業への投資に充て  
非連続の変化を乗り越えられる事業構造確立へ

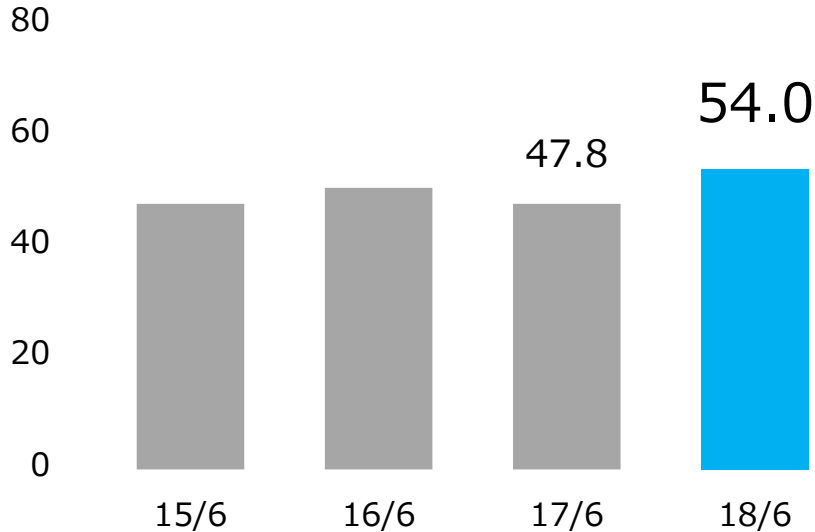


- ① リサイクル資源貿易取引
- ② リユース商材貿易等の取引
- ③ 金銀滓回収事業の拡大
- ④ ASR再資源化事業
- ⑤ RPF・鉄鋼副資材製造販売
- ⑥ 動産撤去・処理サービス
- ⑦ 弾性舗装材市場拡大への取り組み
- ⑧ 太陽光発電所開発

# ① リサイクル資源貿易取引

鉄出荷量

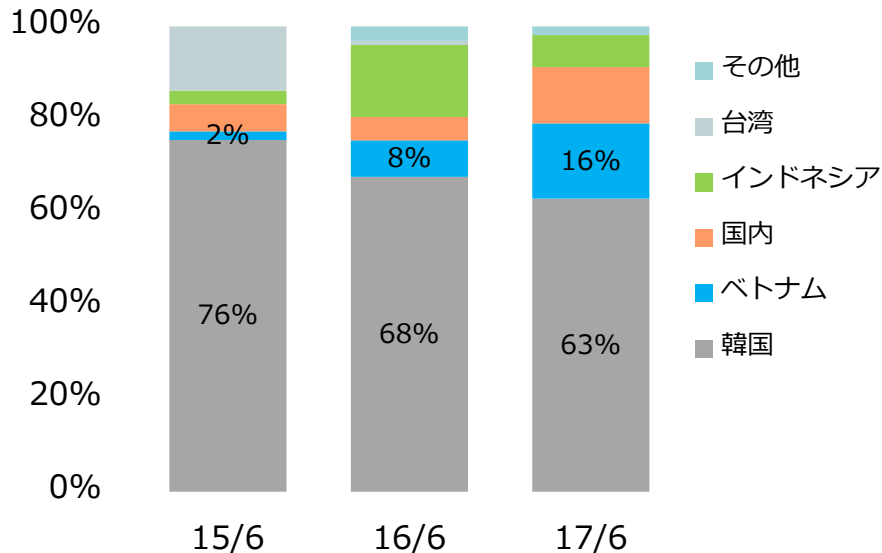
(万 t)



出荷量は、50万t前後の水準で伸び悩む  
向け先は、韓国低下しベトナム伸長

- 市場環境に合わせた販売
  - 東南アジア、南アジアへの販売拡張
  - 中国からの輸出取引
  - 小口・大口の販売形態確立  
(1万tクラスのバルク船、コンテナ)
- 在庫保管能力の拡張  
5.5万t → 6.6万t

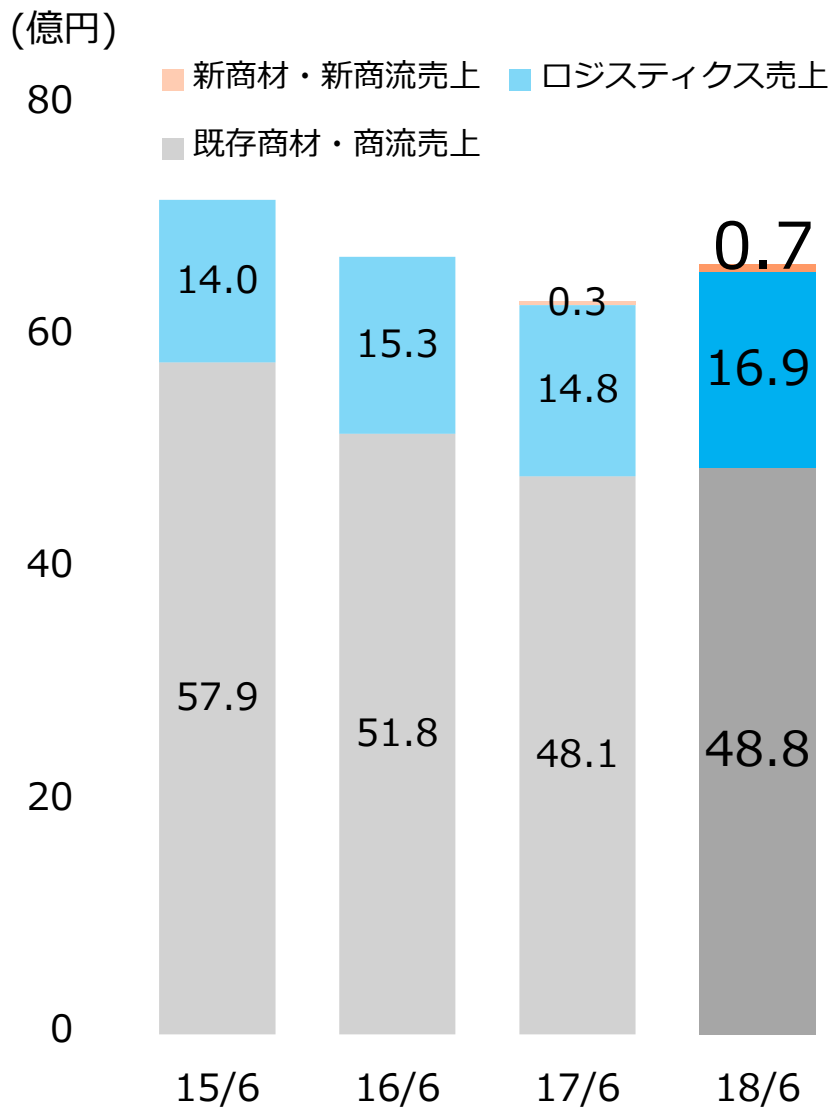
国別出荷割合



相場を活かした取引 **(活相場)**

出荷量 **13%増**

## ②リユース商材貿易等の取引



中古車登録台数減少等、国内市場縮小傾向

= 日本での商材確保について困難が予想される



新商材・新商流の開発を加速

- UAEから日本への高級車輸入販売
- レストア車両の販売(日本→UAE→日本)
- ウガンダにおける農業機械販売増加
- チリ向けシンガポール車両の輸出販売増加

ロジスティクス取引強化

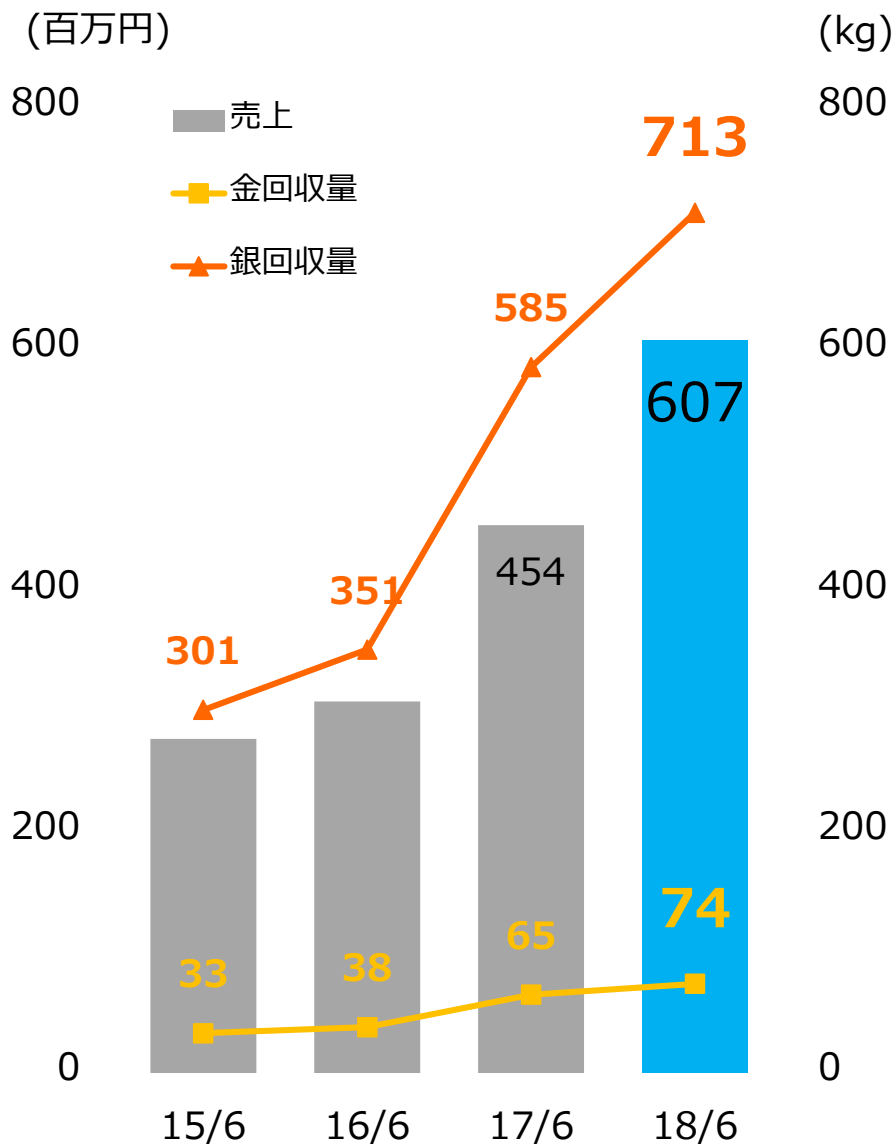
- 博多での輸出バンニングサービス開始

2020年6月期

新商材・新商流から

売上 **6億円** を目指す

### ③金銀滓(Au、Ag、Pt、Pd、Cu)回収事業の拡大

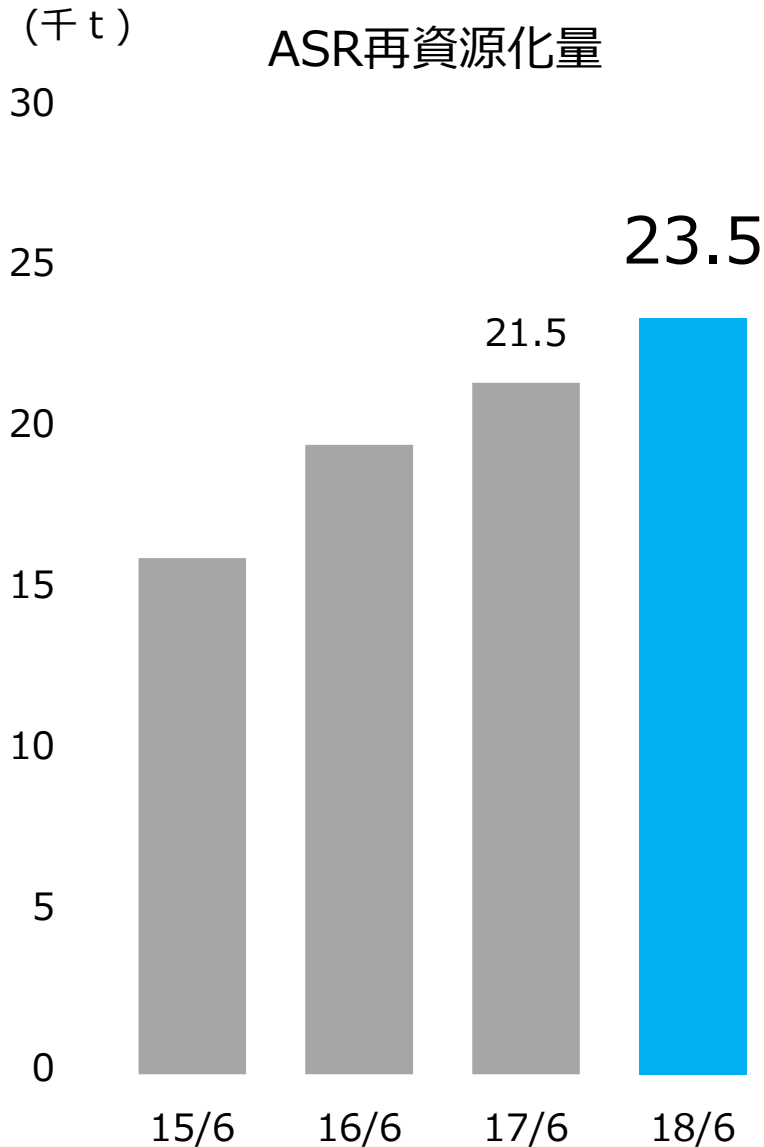


- ▶ 小型家電等破碎残渣からの金銀滓回収量増加
- ▶ 国内からの焼却灰由来のミックスメタル回収量増加
- ▶ 海外からの焼却灰由来のミックスメタル輸入(下期開始予定)
- ▶ 大手セメント会社との実証事業スタート(平成30年1月稼働予定)



ミックスメタル(金銀滓含有)

# ④ASR再資源化事業



他社ASR受入れ拡大  
混錬・混合する廃棄物集荷拡大

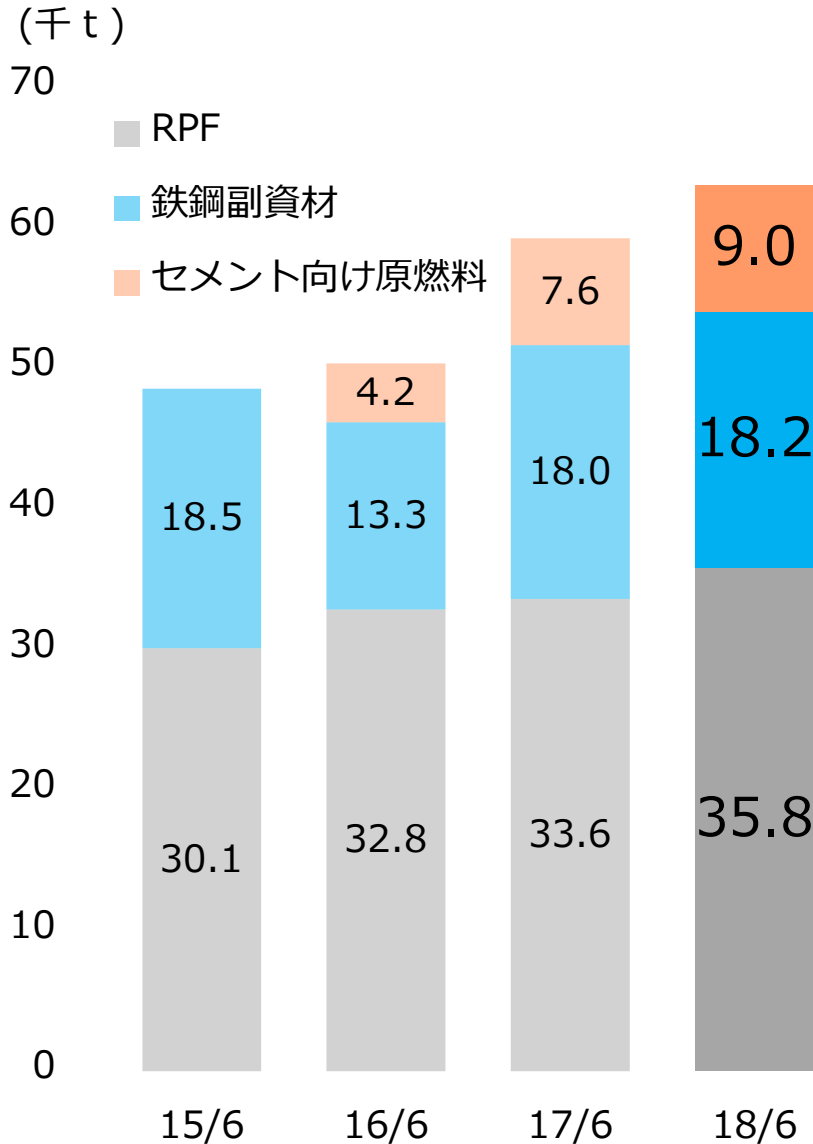
再資源化量 **9%増**



クロダリサイクル再資源化施設

※ASRとは“Automobile Shredder Residue”の略で、自動車破碎残渣を指す。使用済み自動車からエアバッグ類、フロン類、ドア、エンジンなどの部品を取り外し、破碎（シュレッディング）して有用金属を回収した後に残ったもの。

# ⑤RPF・鉄鋼副資材等の製造販売事業の拡大



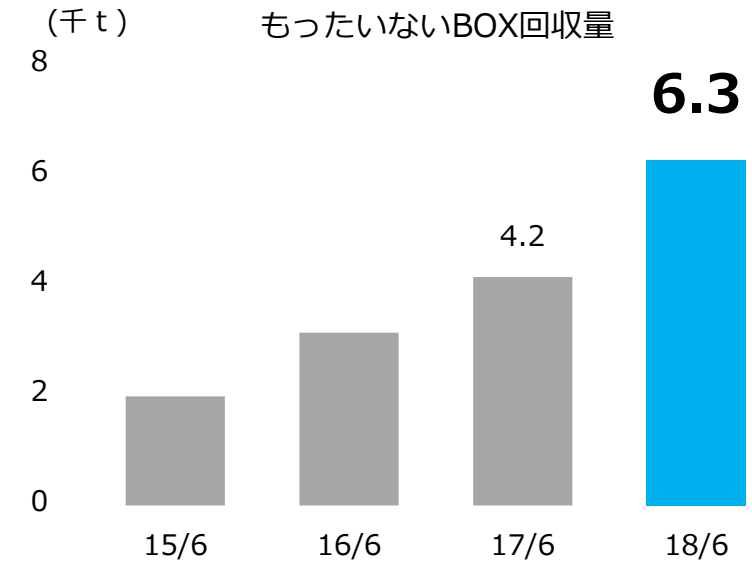
開発済新商品の拡販  
鉄鋼副資材輸出チャレンジ

出荷量 **6%増**



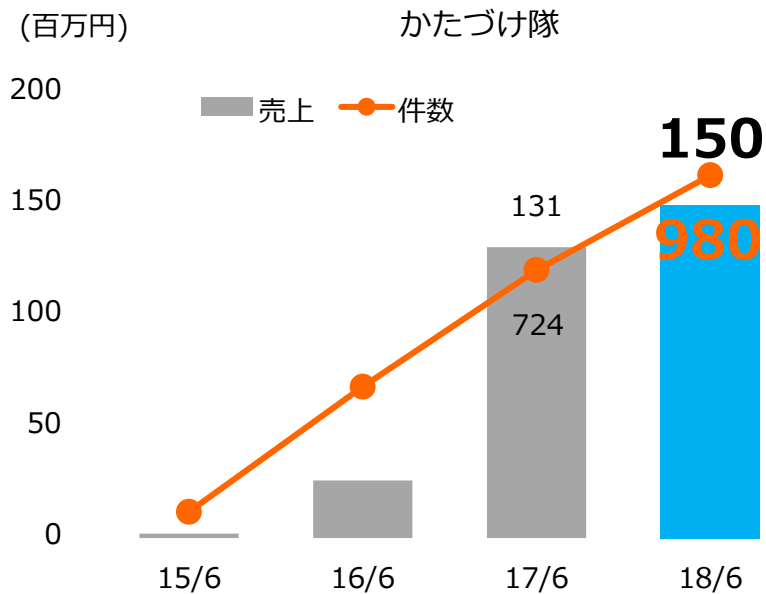
RPF

# ⑥ 動産撤去・処理サービス



もったいないBOXステーション増設  
2018年6月期 + 2カ所設置 計8ヶ所

回収量 **51%増**



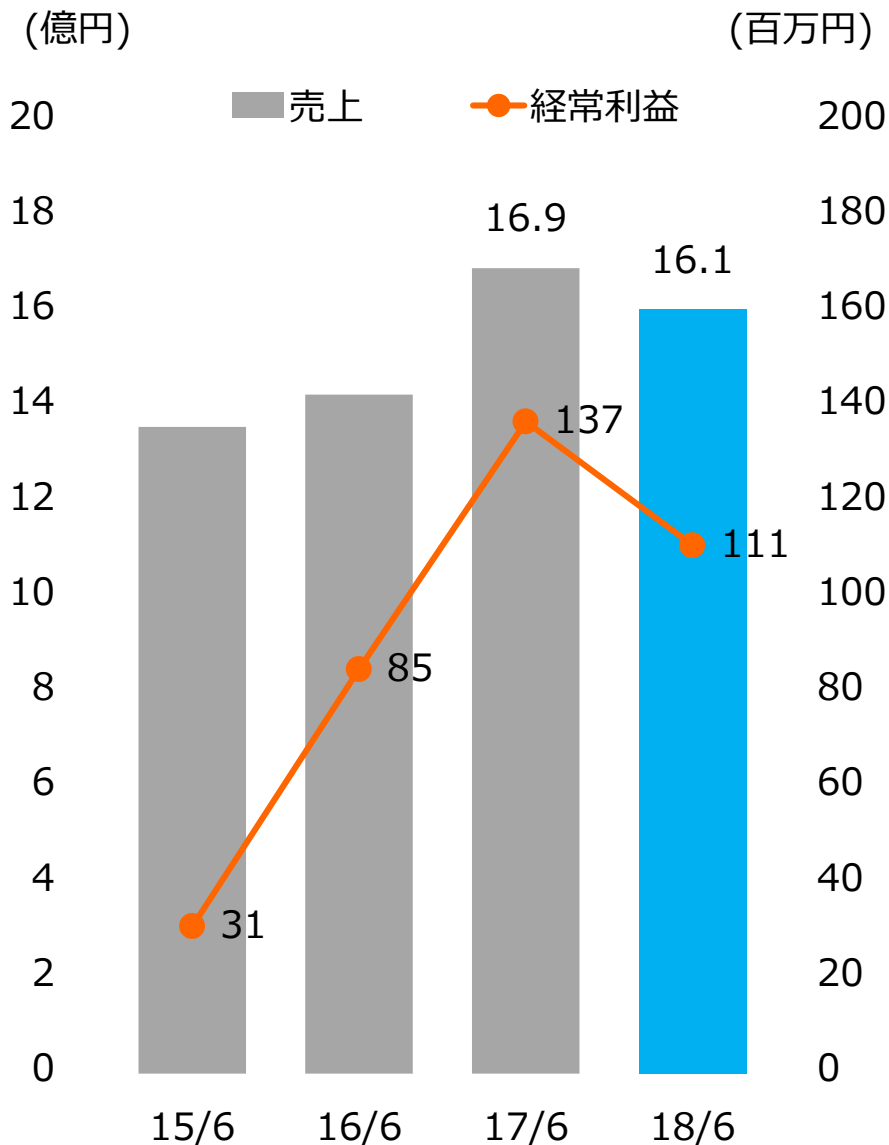
(件)

プラットフォームサイト構築しインターネットからの導線構築  
サービス認知度向上とプログラムの拡充継続

件数 **35%増** 売上 **14%増**

地域に密着し空き家解体等  
次の事業に結びつけていく

# ⑦弾性舗装材市場拡大への取組み



## M&A後 順調に成長

前期大型案件獲得の反動で減収減益を見込むが安定的収益を確保していく

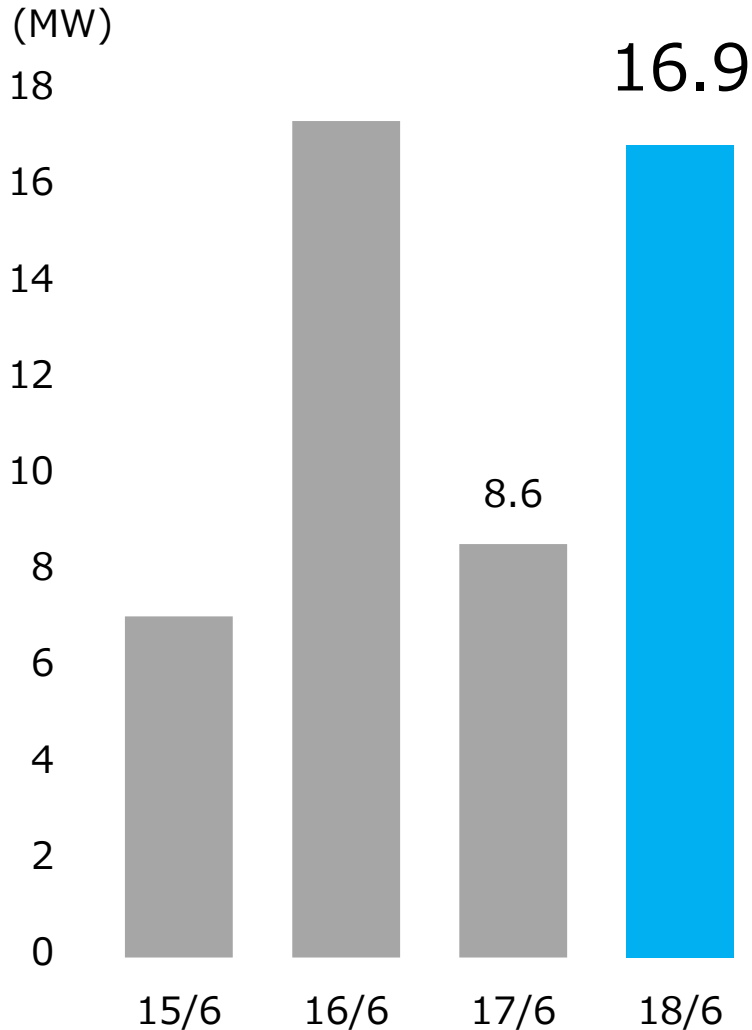
- 小型案件の獲得数増加をベースに大型案件受注営業実施
- 放射線遮蔽材特許取得を活用した提案営業実施
- 九州エリア強化（福岡）
- 踏切マット販売強化

# 弾性舗装材市場 拡大に引続き注力



# ⑧太陽光発電所開発

太陽光発電 開発容量(高压)



高压開発案件に対する出資実行済み  
 加え特別高压案件 2 件開発中

2018年 6 月期の収益源確保



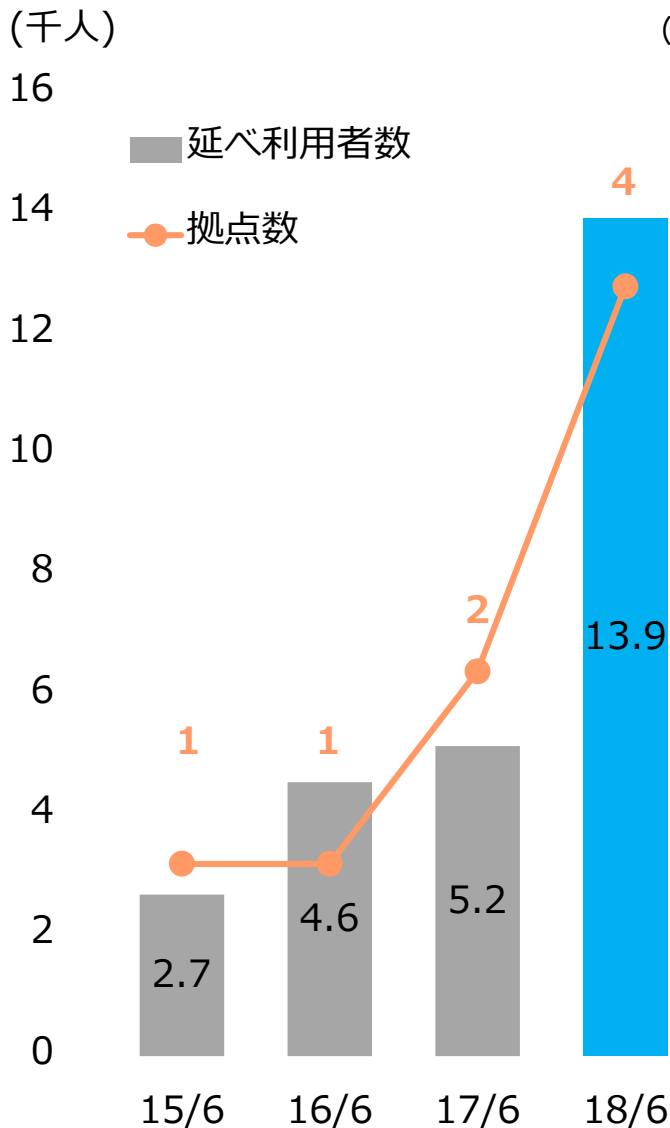
粗利ベース

2017.6期	前期実績	2.9 億円
2018.6期	当期見込み	4.2 億円

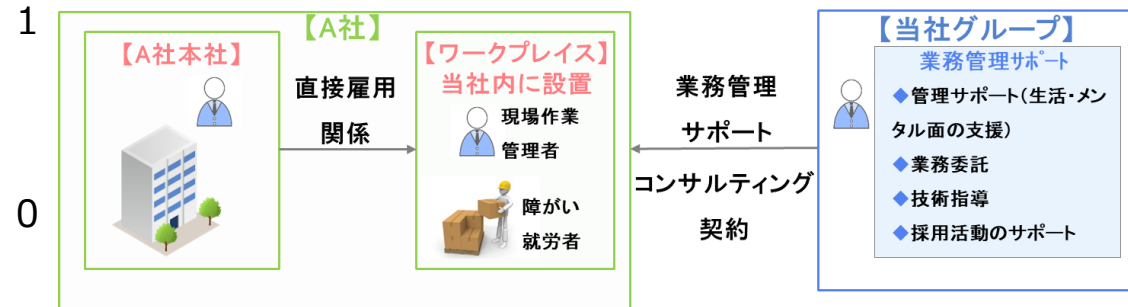
+ 1.3 億円

- ① 障がい者就労移行支援事業
- ② 木質系バイオマス燃料事業
- ③ 再生プラスチック製造事業
- ④ デジタルサイネージ事業

# ①障がい者就労移行支援事業

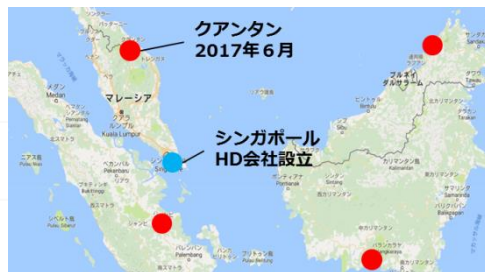


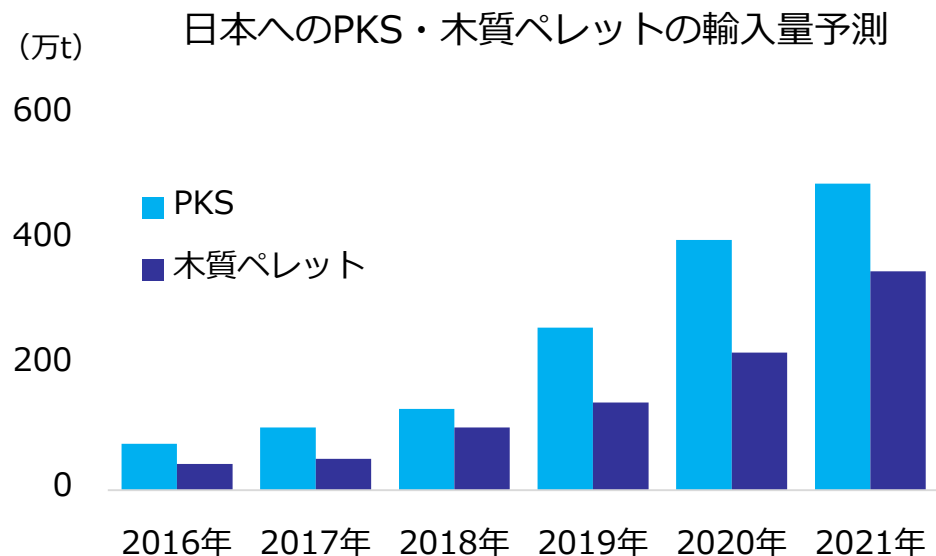
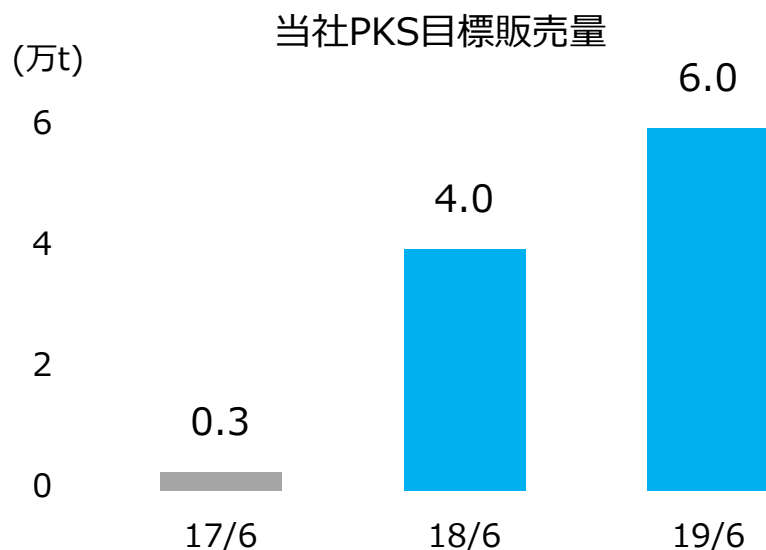
- 既存拠点（松本）は安定収益計上
- 新拠点は投資先行（開設費用、人材採用、HP等）
- 2017年6月 関東圏での初拠点「ブライトえびす」オープン
- 2017年9月以降 2拠点目「ブライトむさし小杉」オープン予定
- 障がい者サテライトワークシステム構築  
障がい者の法定雇用率を充足したいニーズに対応  
ブライト松本に続きアストコロボ恵比寿を9月から事業開始



## サテライトワークシステム

## ②木質系バイオマス燃料事業

2016年10月	シンガポールにホールディングス会社「MINE BIOMASS SYNERGIES PRIVATE LIMITED」を合併で設立 (当社グループ出資比率 15%)	 <p>クアantan 2017年6月</p> <p>シンガポール HD会社設立</p>
2017年6月	マレーシア クアantanに集荷ヤードを開設	
2018年前半	マレーシアに集荷ヤード2拠点目を開設予定(サバ州)	

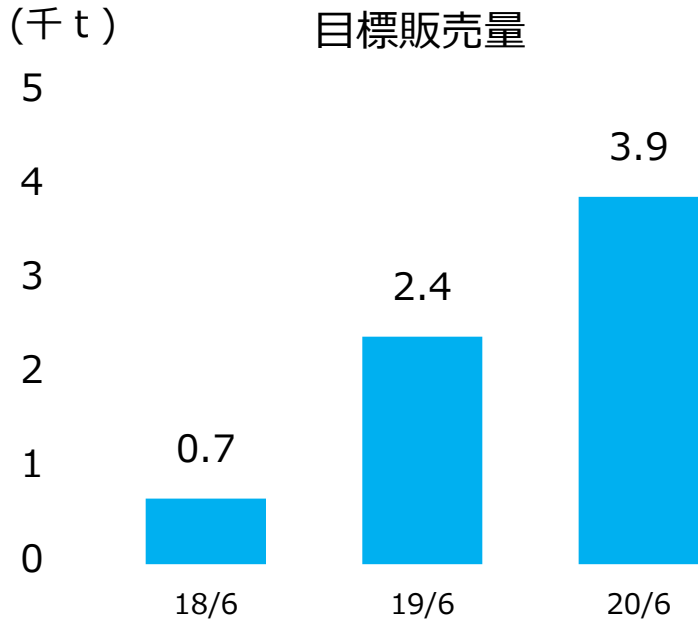


PKS輸入から開始し、ボリユームを増やししながら木質ペレット、半炭化ペレットの可能性を模索

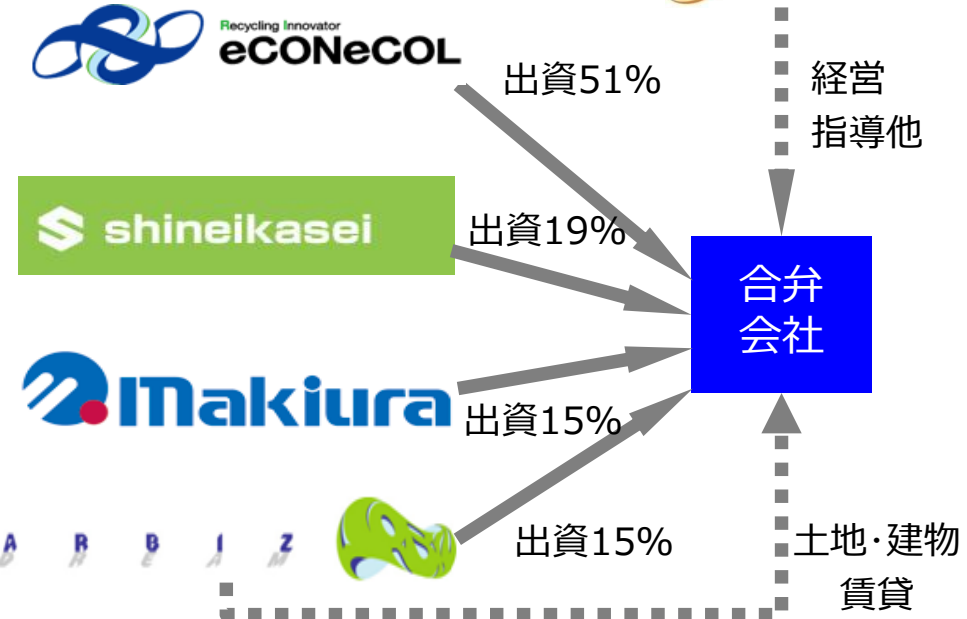
# ③再生プラスチック製造事業

2017年7月  
2018年前半

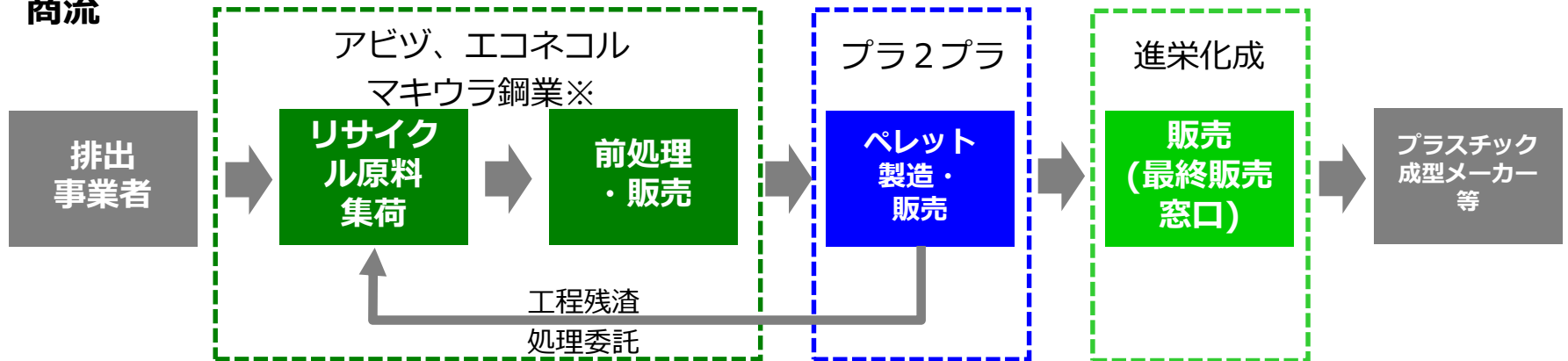
「株式会社プラ2プラ」設立  
設備設置し本格稼働予定



## 事業スキーム



## 商流

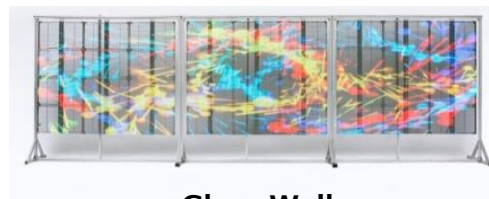
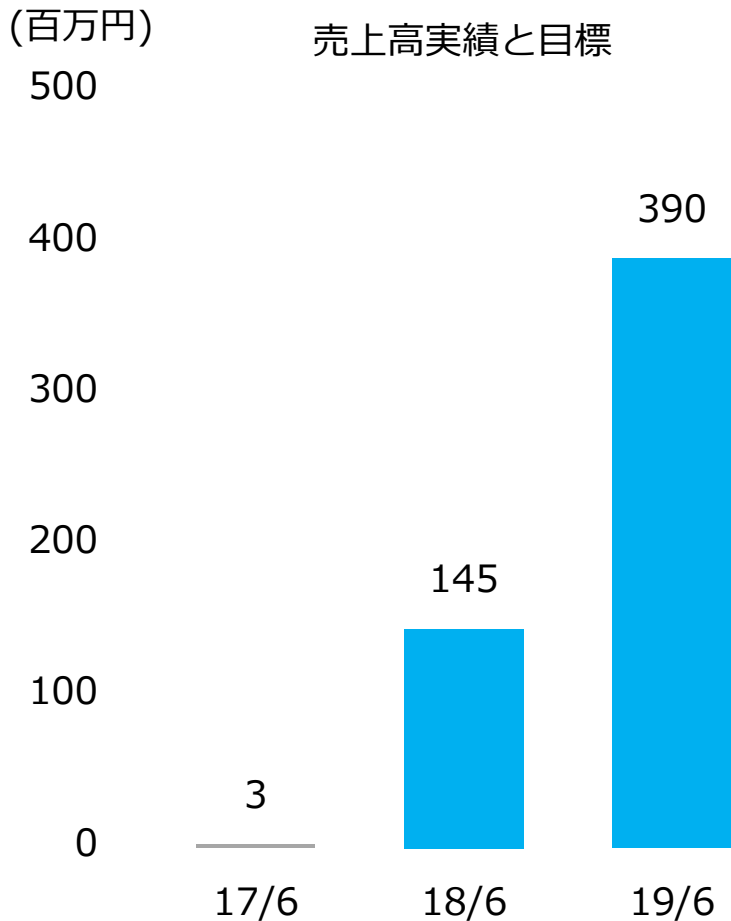


※株エコネコル、(株)アビツ、マキウラ鋼業(株)の三社は、A S R再資源化認定施設を保有する会社。

# ④ デジタルサイネージ事業

## TOPICS

- (株)日立システムズによる保守及び販売体制の強化
- 商品ラインナップの拡充



## CDP（カーボン・ディスクロージャー・プロジェクト）のスコアリングパートナー契約を締結



CDPとは・・・  
気候変動対応等に関する最も著名な企業評価制度  
世界の企業6,000社が評価対象  
企業価値を図る重要な指標（投資家が活用）

CDPより企業をスコアリングすることを認められているのは国内では6社のみ

⇒(株)ブライトイノベーションがそのうちの1社となる

※他スコアリングパートナー：大手監査法人、審査会社等

CDPスコアリングパートナーとしてのノウハウを活かし企業の脱炭素経営を支援していきます

## TOPICS

### ■ NEDO実証事業採択

平成29年度「アジア省エネルギー型資源循環制度導入実証事業」においてタイ王国バンコクにおける電気・電子機器廃棄物の国際循環リサイクルシステム実証事業採択

- ⇒ タイ国内での電気・電子機器回収処理の制度設計支援と環境汚染問題の解決を目指す
- アジアにおけるリサイクルモデルを確立し海外での新たな事業展開へ



### ■ 事業用地を2017年3月購入

借地だった事業用地を購入と同時に隣地を追加取得  
総敷地面積（約34,000坪）は国内トップクラス

- ⇒ 国内での新たな事業展開を検討



# 経常利益の構成

単位：百万円



2017年6月期  
連結経常利益  
1,000

2018年6月期  
連結経常利益  
1,078

既存事業  
1,124

11%増益

既存事業  
1,247

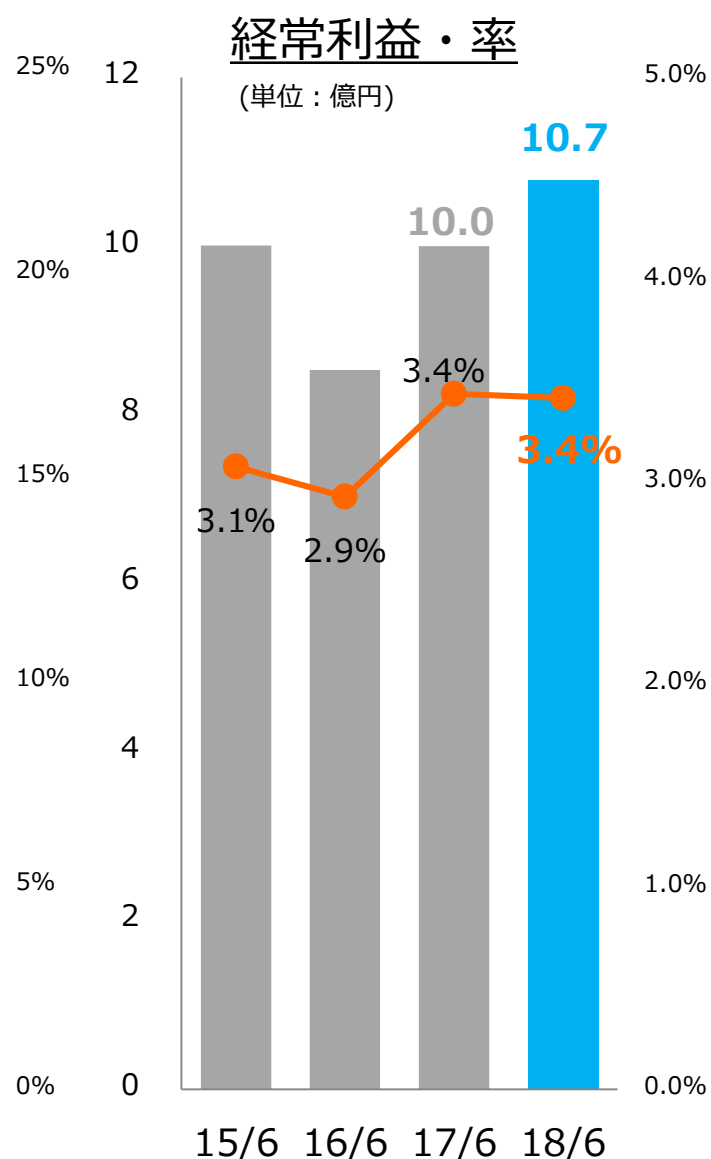
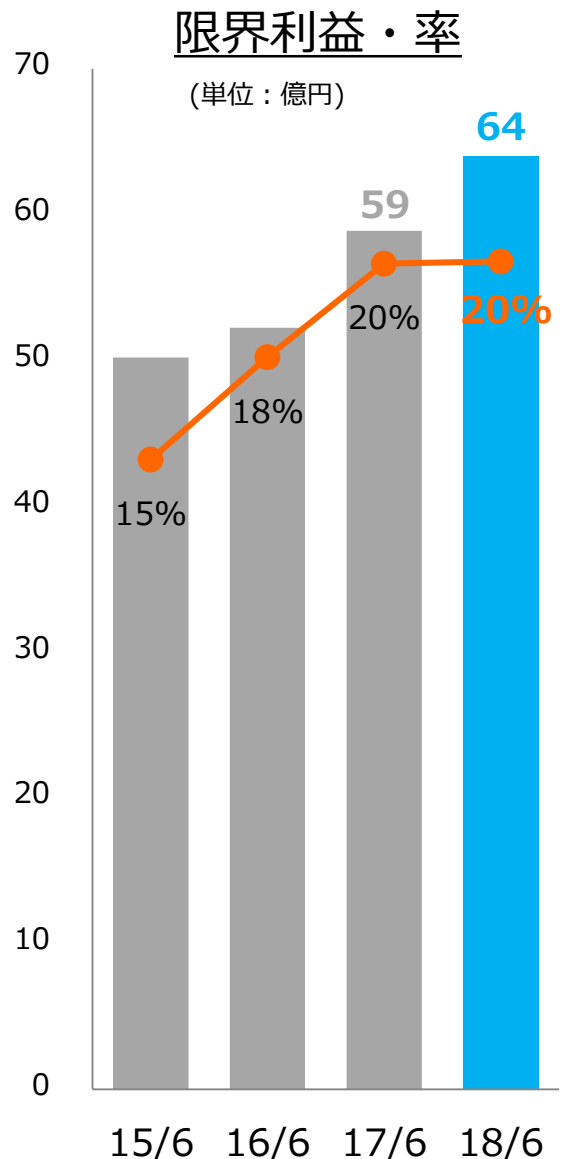
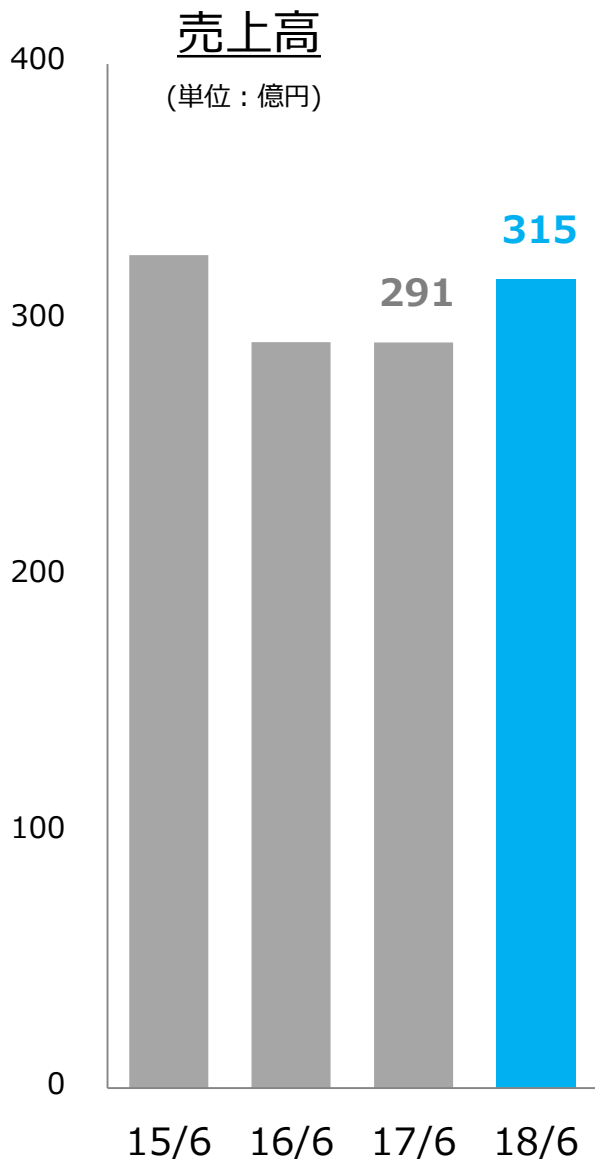
新規事業  
-124

先行投資

新規事業  
-169

非連続の変化を乗り越えるために  
今後これ以外の新規事業も立ち上げていく

# 連結業績予想



---

## 3. 会社概要

# グループ概要



本 社	静岡県富士宮市山宮3507番地の19
代 表 者	代表取締役社長 佐野富和
設 立	2010年5月
グ ル ー プ 会 社	連結子会社12社(孫会社含む)、持分法適用関連会社2社
従 業 員 数	単体26名(連結363名) ※2017年6月末現在

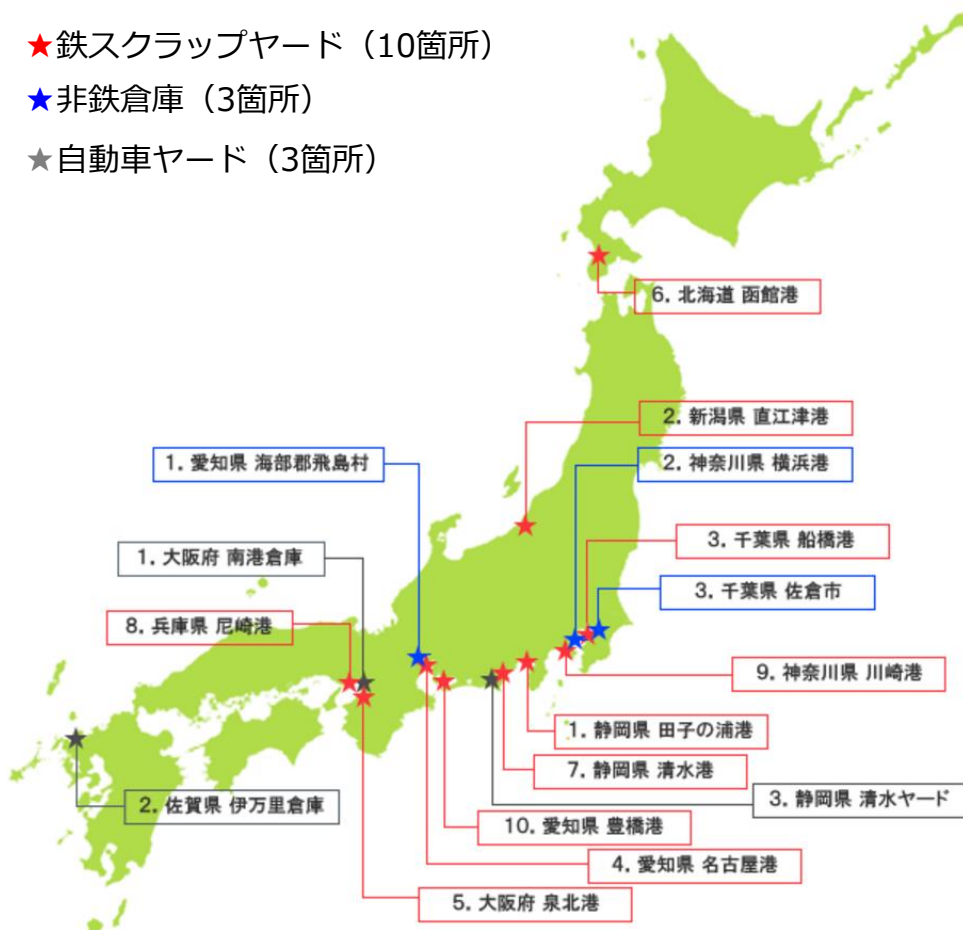
子 会 社	(株)エコネコル	静岡県 富士宮市	金属・プラスチックリサイクル及びリサイクル資源等の輸出版売
	(株)3WM	愛知県 名古屋市	中古車・中古車部品等の輸出及び三国間貿易、物流代行 子会社 海外現地法人3社
	(株)クロダリサイクル	北海道 函館市	金属・プラスチック及び家電等のリサイクル
	(株)しんえこ	長野県 松本市	金属・プラスチック及び小型家電等のリサイクル
	(株)アストコ	東京都 目黒区	障がい福祉サービス
	(株)E3	東京都 中央区	再生可能エネルギー発電開発、デジタルサイネージ販売他
	(株)東洋ゴムチップ	群馬県 前橋市	ゴムリサイクル及びゴム製品製造・販売
	(株)ブライイトイノベーション	東京都 目黒区	環境コンサルティング
	(株)プラ2プラ	愛知県 名古屋市	再生プラスチック製造
関 連 会 社	(株)アビツ	愛知県 名古屋市	【持分割合49%】 金属・プラスチックリサイクル及び自動車リサイクル 中古車オークション最大手の(株)ユー・エス・エスとの合併
	(株)富士エコサイクル	静岡県 浜松市	【持分割合20%】 家電リサイクル 家電大手の(株)富士通ゼネラルとの合併

※従業員数は正社員数

# 拠点

## 【流通拠点】

- ★鉄スクラップヤード (10箇所)
- ★非鉄倉庫 (3箇所)
- ★自動車ヤード (3箇所)



## 【加工拠点】 (8箇所)

函館、松本、富士宮、清水、  
浜松 (2箇所)、名古屋、群馬

## 【海外拠点】

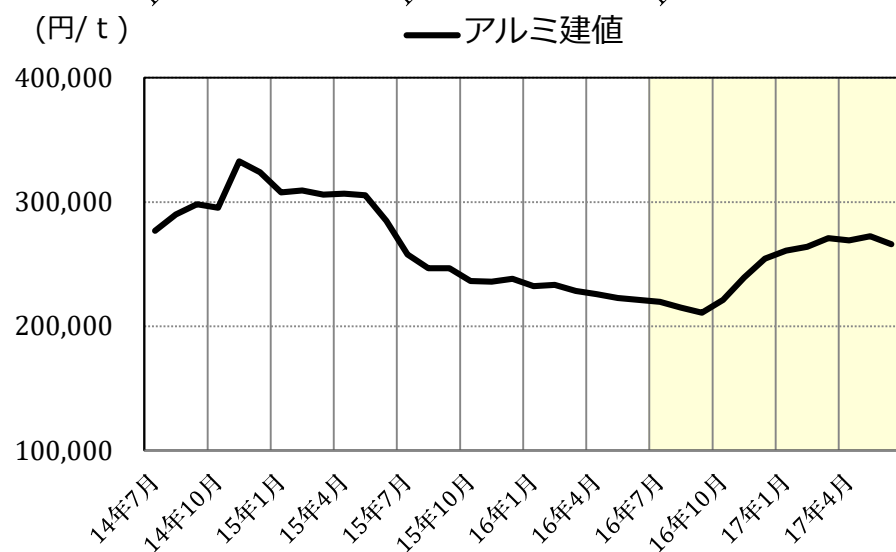
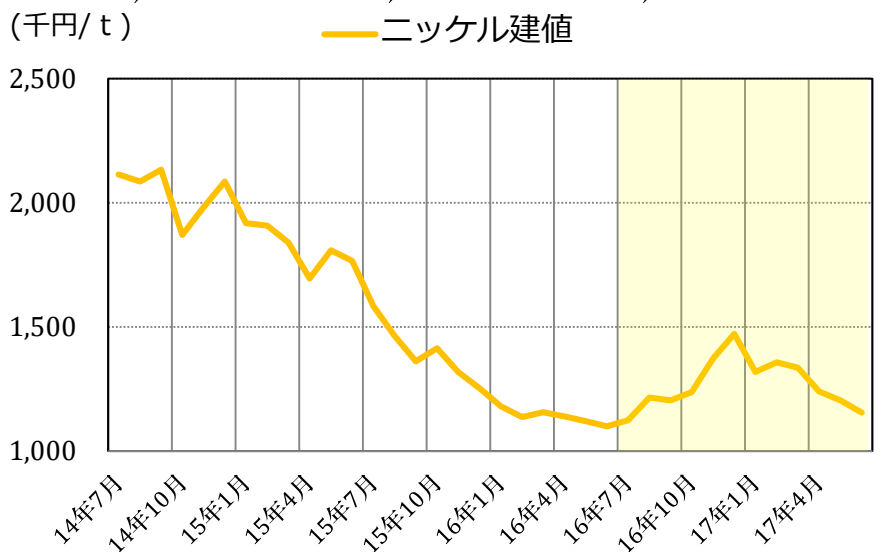
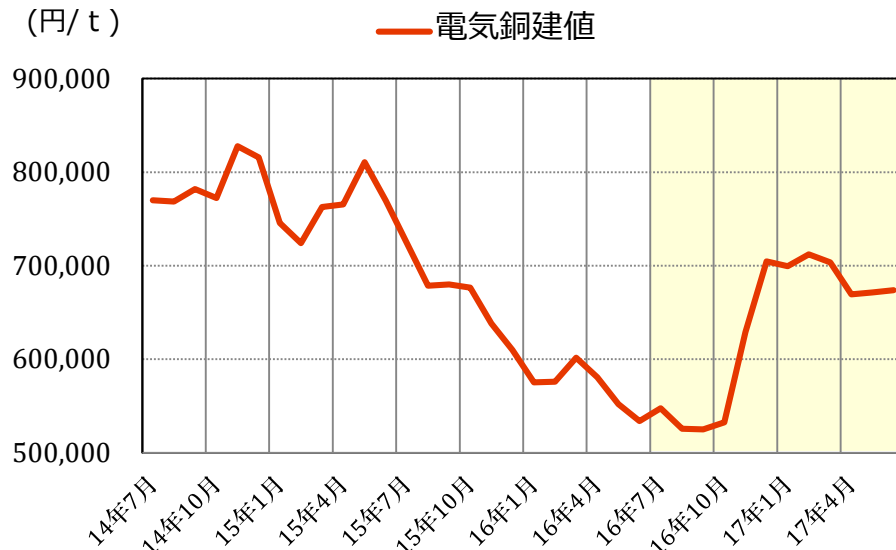
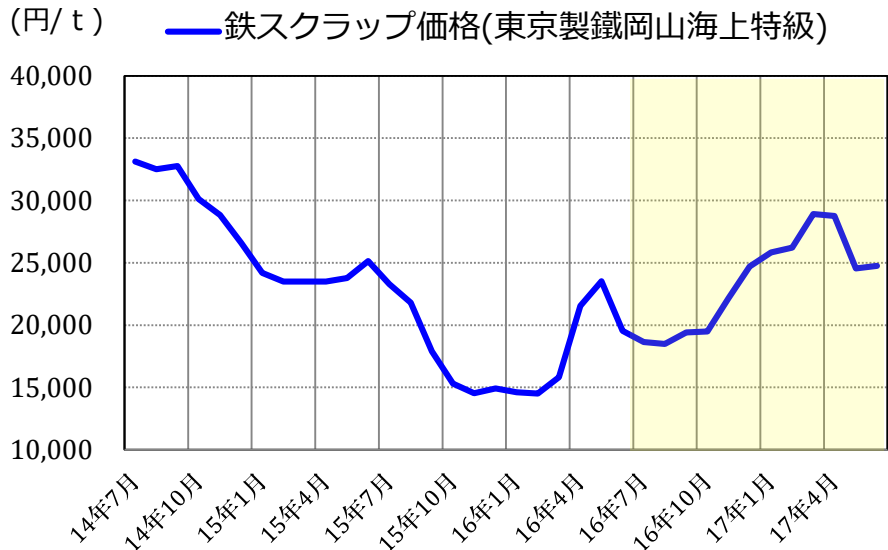
- 1 UAE現地法人 (株) 3 WM海外子会社)
- 2 チリ現地法人 (株) 3 WM海外子会社)
- 3 ウガンダ現地法人 (株) 3 WM海外子会社)
- 4 ホーチミン駐在事務所 (株) エコネコル海外事務所)
- 5 マレーシア集荷ヤード  
(合併会社 Mine Biomass Synergies)



---

## 4. 参考データ

# 相場推移①

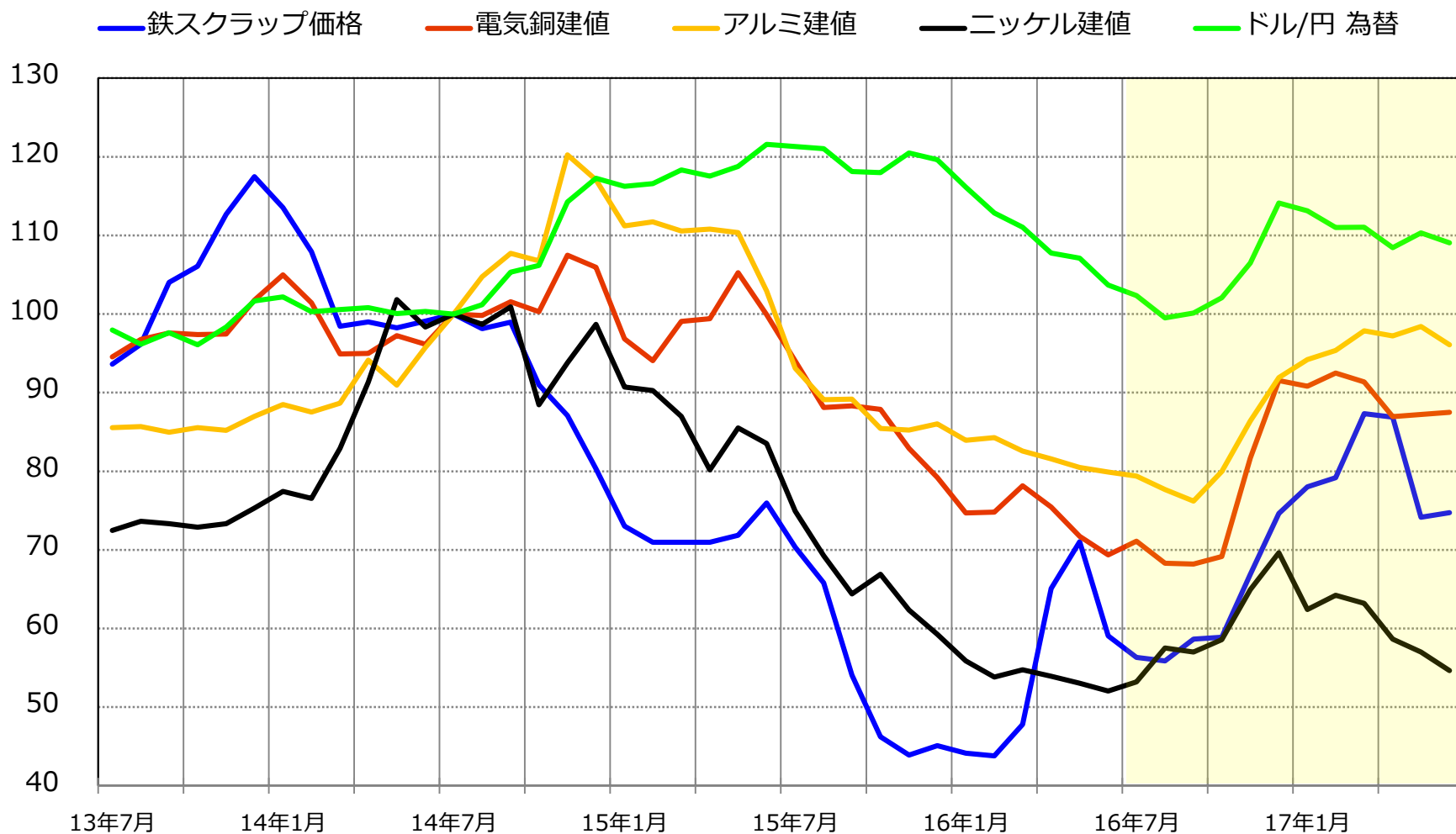


(出所) 東京製鐵(株)、(株)日本経済新聞社

(出所) 一般社団法人日本電線工業会、(株)日刊産業新聞社

# 相場推移②

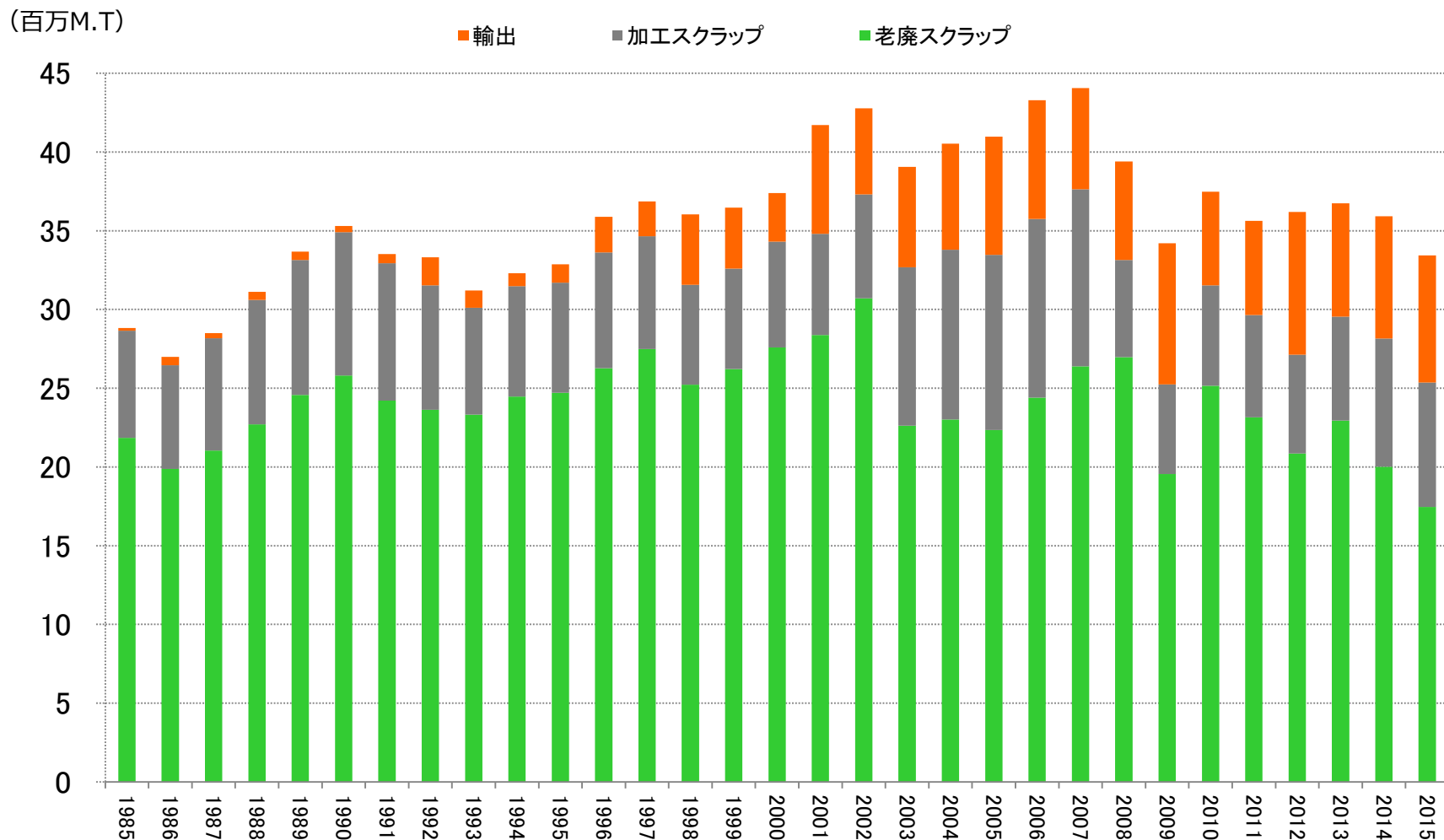
## 金属相場の推移 (INDEX推移 2014年7月を100とする)





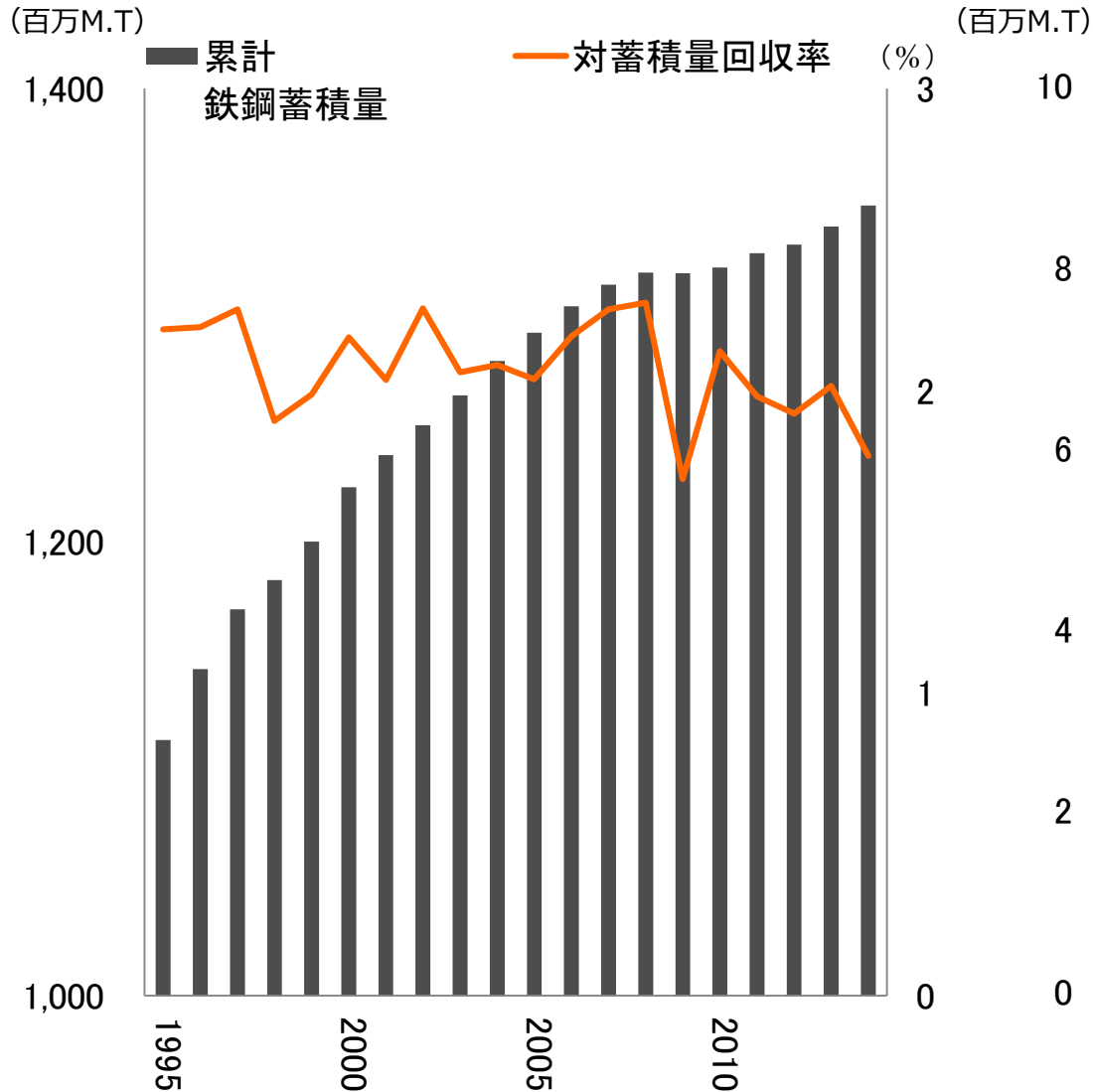
# 国内鉄スクラップのマーケット①

## 鉄スクラップ発生量推移

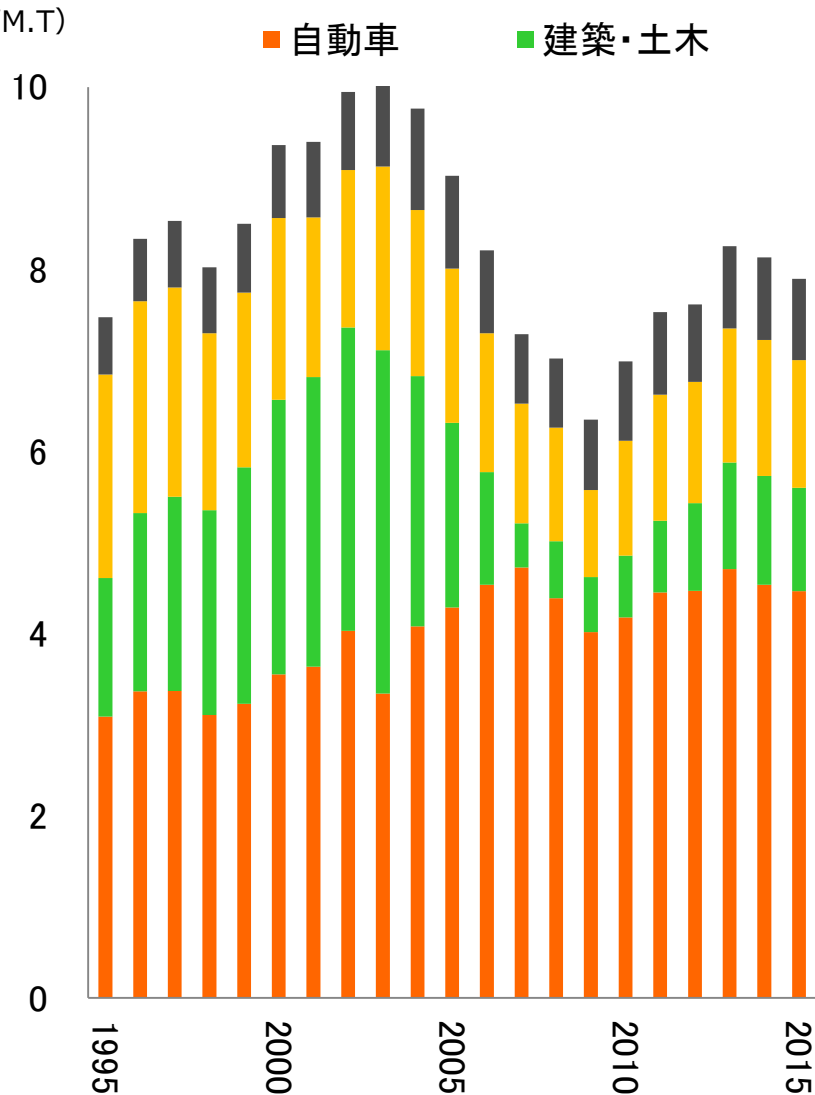


# 国内鉄スクラップのマーケット②

## 鉄鋼備蓄量と回収率推移



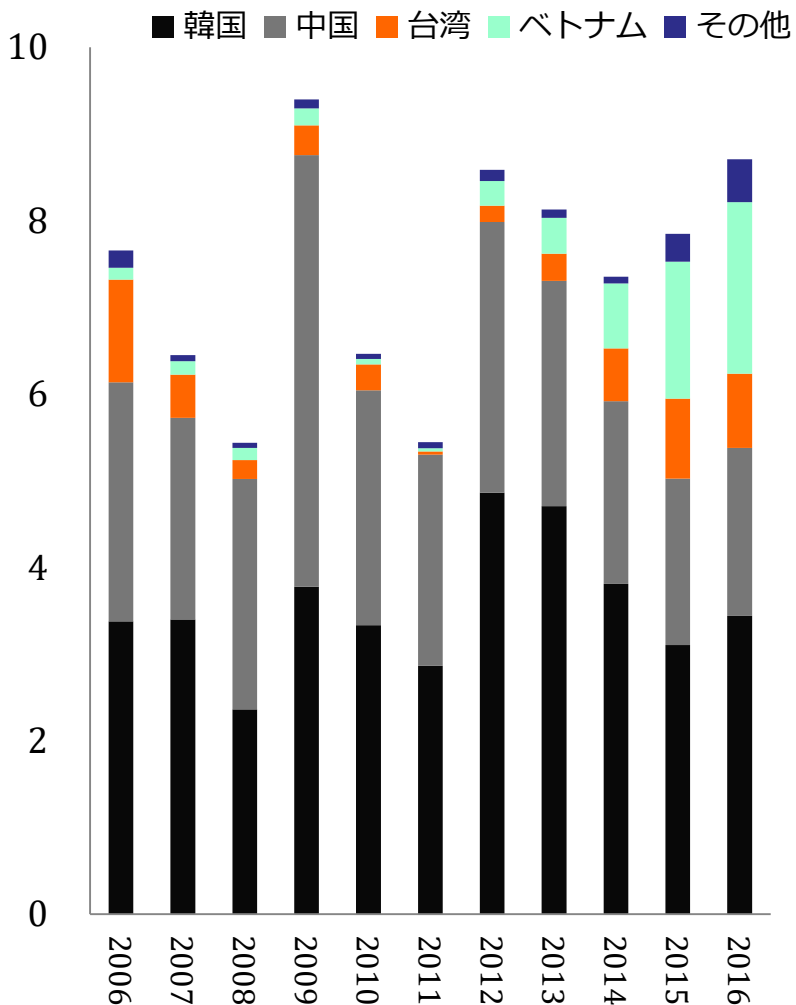
## 加工スクラップ発生量推移



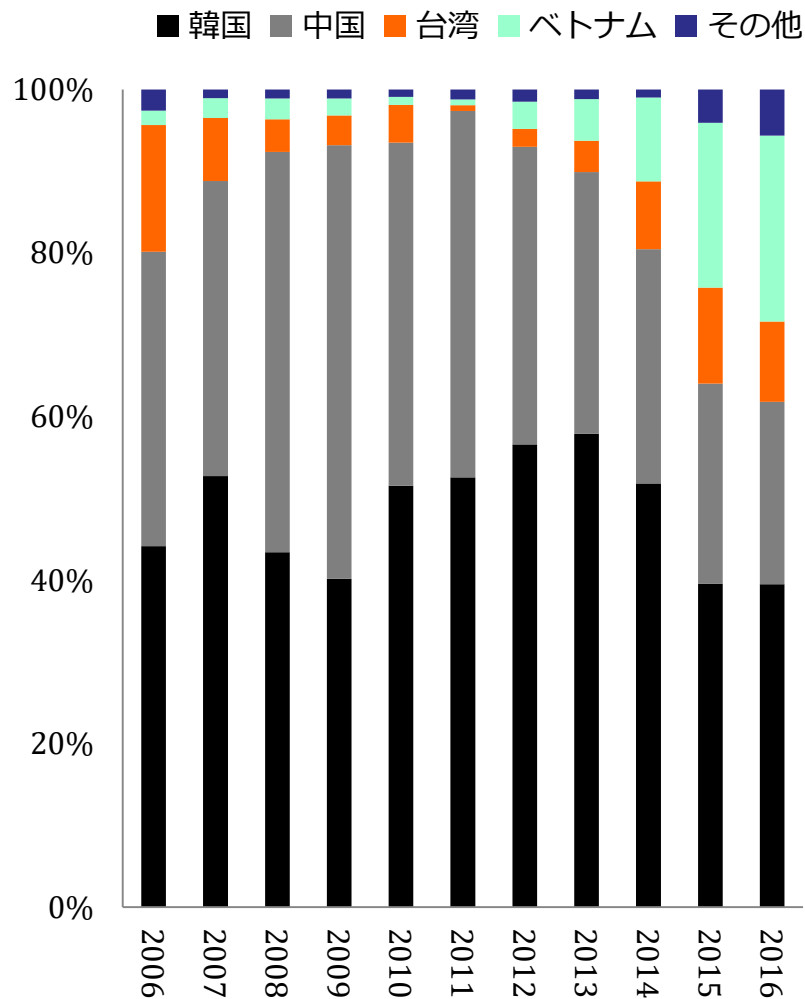
# 輸出鉄スクラップのマーケット

## 鉄スクラップ輸出量推移

(百万M.T)



## 鉄スクラップ輸出シェア推移



- 本資料は投資家の参考に資するよう、株式会社エンビプロ・ホールディングスの現状を理解していただくために作成したものです。
- 本資料に記載された内容は、現時点において一般に認識されている経済・社会等の情勢及び弊社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。

## 【本資料及びIRに関するお問い合わせ先】

株式会社エンビプロ・ホールディングス 経営企画部

TEL (0544) 58-0521

URL <http://www.envipro.jp>